# 2big network

## Professional 2disk RAID
Gigabit Ethernet

user manual

manuel utilisateur

manual de instrucciones

gebruikershandleiding

guída utente

handbuch

ユーザー マニュアル

用户手册

용자 설명서

Design by Neil Poulton

# 目次

**健康および安全性の注意** **4**
一般的な使用上の注意 4

**1. LaCie 2big Network の概要** **6**
以下のことを必要とします。 6
1.1. パッケージ内容 7
1.2 システム必須要件 8
1.3. ハード ディスクの熱管理 9
1.4. ラックマウント オプション 10
1.5. ドライブの外観 11
前面/1 クリック データ共有 11
背面図 12
1.6. ケーブルおよびコネクタ 13

**2. LaCie 2big Network のセットアップ** **14**
2.1. ドライブをオンにする 15
2.2. Ethernet ケーブルを接続する 16
2.3. LaCie Ethernet Agent に接続する(Windows) 17
2.4, IP Configurator Wizard に接続する (Mac) 19
2.5, DHCP サーバなしで LAN に 2big Network を設定する 20
2.5.1. LaCie Ethernet Agent の設定(Windows) 20
2.5.2.LaCie IP Configurator の設定 (Mac) 21
2.6. 2big Network の切断 (Ethernet 接続) 22

**3. LaCie 2big Network の管理** **23**
3.1. NAS 管理ページへのアクセス 24
3.2. 表示言語の設定 25
3.3. 管理 [Home] ページ 25
3.4. ユーザー 26
3.4.1. 管理者アカウント 26
3.4.2. ユーザーを追加する 27
3.4.3. シェアへのユーザー アクセスを設定する 28
3.4.4. グループ メンバーシップを設定する 28
3.4.5. アクセス権限について 29
3.4.6. ユーザー アカウントを削除する 29
3.4.7. ユーザー アカウントの編集 29
3.5. グループ 30
3.5.1. グループの追加 30
3.5.2. シェアへのグループ アクセスを設定する 31
3.5.3. グループの削除 32
3.5.4. グループの編集 32

3.6. シェア 33
3.6.1. シェアの作成 33
3.6.2. USB キーからシェアを作成する 34
3.6.3. シェアの削除 35
3.6.4. シェアの編集 35
3.7. システム 36
3.7.1. 構成 36
3.7.2. ネットワーク 37
3.7.1. ディスク 39
3.7.4. ステータス 41
3.7.2. メンテナンス 41
3.7.6. システム ログ 44

**4. 共有ストレージにアクセスする 45**
4.1. Ethernet Agent を使ってシェアに接続する (Windows) 45
4.2. Ethernet Agent を使ってドライブをマッピングする (Windows) 46
4.3. NAS 管理ページ – 参照 47
4.3.1. ファイルのアップロード 47
4.3.2. ファイルのダウンロード 48
4.3.3. ファイルの削除 48
4.3.4. ログアウト 48
4.4. マイ ネットワーク – Windows Vista/XP/2000 ユーザー 49
4.5. Mac をご使用の方 51
4.6. Linux をご使用の方 52

**5. RAID 53**
5.1. 2big Network RAID モード 53
5.2. RAID モードの変更 54
5.3. ドライブの交換 55
5.3.1. 新しいドライブのインストール 56
5.3.1. 新しいドライブを初期化する 57

**6. LED インジケータ 58**

**7 トラブルシューティング 59**

**8. カスタマ サポートへのお問い合わせ 62**
8.1 Lacie テクニカル サポートの連絡先 63

**9. 保証について 64**

### 著作権

Copyright c 2007 LaCie.All rights reserved.電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行うことを禁じます。

### 商標について

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標であり、Microsoft、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000、Windows Millennium Edition および Windows XP は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

### 変更について

本マニュアルに記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

### カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

### FCC Statement

LaCie 2big Network
FCC 規格による
適合試験済み
家庭・職場での使用向き

本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

1. 本装置は有害な電波障害の原因となってはならない。
2. 本装置は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注意:本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められた クラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生し使用するもので、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合 (これは本機器の電源のオン／オフにすることにより判断できます)、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- 販売代理店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

**警告:** 上記の注意事項を遵守しないことによって生じた障害については、LaCie 2big Network の保証対象外となります。

**注意:** メーカーからの承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

### CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本装置が次の欧州規格、Class B EN60950、EN55022、EN50082-1、EN61000-3-2 に準拠していることを明言します。

次の条件に関しても準拠：73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令

### ROHS 準拠

本製品は ROHS に準拠しています (有害物質規制, 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限、欧州指令 2002/95/EC に対応)

本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物をリサイクルする所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分する責任は、ユーザーにあります。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回収やリサイクルを行うと、自然資源の保護に役立ち、人の健康や環境を保護するような方法でリサイクルが行えます。使用済み機器をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

# 健康および安全性の注意

- 本製品の保守作業は、有資格者のみが行えます。
- デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- LaCie 2big Network を開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、ドライブに金属物を挿入しないでください。LaCie 2big Network には、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート担当者に点検をご依頼ください。
- デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。LaCie 2big Network の上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、デバイスの開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。
- コンピュータおよび LaCie 2big Network の電気アースが取られていることを確認してください。デバイスのアースを取っていないと、感電の危険性が高くなります。電源要件は、100-240 V~、1.5 A、60～50 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の ± 10% 以内に収まるようにしてください)。

## 一般的な使用上の注意

- LaCie 2big Network は、温度 5°C-35°C、動作湿度 5～80% (結露なし)、保管湿度 10～90% (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。指定範囲外で使用すると、LaCie 2big Network が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、LaCie 2big Network を熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、LaCie 2big Network が損傷する恐れがあります。
- 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ず LaCie 2big Network のプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。
- LaCie 2big Network をテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- LaCie 2big Network をコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、LaCie 2big Network の動作や機能の安定性に影響を及ぼすことがあります。LaCie 2big Network の上に重い

ものを載せたり、過度の負荷をかけないでください。LaCie 2big Network に過度の負荷をかけて使用しないでください。問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

**注意:** FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

**重要な情報:**1GB は 10 億バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 10 ～ 15% 減)。1GB は 10億 (1,000,000,000) バイトです。1TB は、1000 GB です。

**重要な情報:**本製品の使用中に生じたデータの損失、改造、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても LaCie はそのデータの復旧または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることを強く推奨します。たとえば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内蔵ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブル ストレージ メディアに取ります。LaCie では、CD、DVD およびテープ ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

# 1. LaCie 2big Network の概要

LaCie 2big Network. をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。小規模のオフィスのデータ共有およびバックアップのニーズを満たすよう設計されており、LaCie 2big Network はセキュリティ機能が備わった共有ストレージの新世代を代表するものとなっています。

### RAID の柔軟性

お手軽なコストの RAID ソリューション一つで、最大のストレージ容量あるいは拡張されたデータセキュリティを入手できます。ディスクの背面の手動スイッチを使って、簡単で迅速に RAID モードを選択できます。最大限の容量を重視するには、2 つのハード ディスクがコンカティネーションされた BIG を選択します。セキュリティを重視するには、全体の容量を 2 つの全く同じボリュームに分割してデータ消失に対する保護を確保する、自動ミラーリング機能が備わった SAFE 100 (RAID 1) を選択します。

### 優れたデザイン

熱を分散する先進的なメタル ケースおよび温度調節によって、ファンの連続的で安定した静音動作が確保されます。2big Network は、すべての作業環境に適応するよう重ね置きまたはラックマウントが可能です。青く光るボタンは、単なるボタンではなく、USB キーから自動的にファイル転送を実行する 1 クリック データ共有ボタンとして機能します。ボタンを押すだけで、即時に同僚とデータを共有できます。

### 簡単なセットアップおよびアクセス

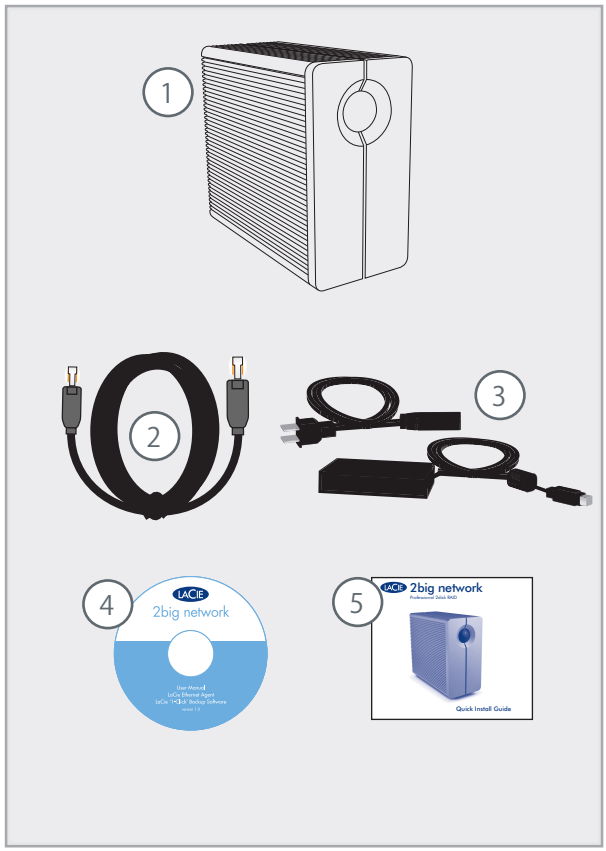
使いやすい LaCie Ethernet Agent によって、簡単にセットアップを実行し、オフィス ネットワークのドライブにアクセス、マッピング、および設定を行うことができます。2big Network の Mac®、Windows®、および Linux マシンとの互換性によりドライブをインストールする必要がなく、小規模のビジネスにとっては理想的なファイル共有ソリューションを実現します。

### 以下のことを必要とします。

- LaCie 2big Network のインストール
- 新しいシェアの作成
- 新規ユーザーの追加
- シェアに直接アクセス
- 2big の RAID モードの変更

## 1.1. パッケージ内容

LaCie 2big パッケージには、ドライブ スタンドが接続されたシステム タワーおよび以下の 2 ～ 5 のアイテムが格納されたアクセサリ ボックスが含まれています。




1. LaCie 2big RAID システム タワー (トレイレス、ホットスワップ可能なハード ディスク ドライブ)
2. イーサネット ケーブル
3. 外部電源装置
4. LaCie Utilities CD-ROM
5. クイック インストール ガイド

**重要な情報:** 購入時の梱包材は保管しておいてください。LaCie ハード ディスクの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。

## 1.2 システム必須要件

### Windows をご使用の方

- Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP (SP1 & SP2) または Windows Vista
- 500MHz Pentium III 以上 (または互換機)
- 512MB 以上の RAM
- Ethernet ルータ (10/100)
- Web ブラウザ (Internet Explorer®、Firefox™)

**重要な情報:** 2big Network のパフォーマンスは、ネットワーク アクティビティ、ハードウェア、距離、およびセットアップなどの外部要因による影響を受ける場合があります。

### Mac をご使用の方

- Mac OS 9 または Mac OS X
- G4、G5、Intel Core Duo、または Intel Core 2 Duo
- 512MB 以上の RAM
- Ethernet ルータ (10/100)
- Web ブラウザ (Internet Explorer®、Safari™、Firefox™)

**重要な情報:** 最適なパフォーマンスを得るには、ホスト PC または MAC 側で Gigabit Ethernet ルータおよび Gigabit Ethernet ボードを使用してください。

## 1.3. ハード ディスクの熱管理

### ■ 熱を分散させる設計

LaCie 2big Networkのメタル ボディは、ディスク内部の熱を自然に分散させるために理想的です。この独特な設計は、内部のディスクから外装ケースに熱を分散させます。この特色により、内部のディスクから熱を取り除き、ドライブの安全を守り、寿命と信頼性を向上させます。その結果、外装ケースに触れたときに熱い状態であっても正常です。 ケースにおける自然の空気の流れを保つために、裏のベゼルの通気口を防がないようにご注意ください。

縦置き

### ■ 縦置き、横置き、ラックマウント可能

ハード ディスクを縦置きにしたときに、最大限の熱分散が達成されます。数台の LaCie ハード ディスクを積み重ねた場合は、付属のゴム足をハード ディスクの底に必ず取り付けてください。ゴム足を取り付けると、ハード ディスク間での空気の流れが可能になり、熱が効果的に分散されるようになります。これは、ご使用の LaCie ハード ディスクにファンが付属していない場合に特に重要です。LaCie では 3 台を超えるドライブを積み重ねることはお勧めしません。特に、積み重ねたドライブの電源を同時にオンにする場合は、このことにご注意ください。

横置き

### ■ スマートファン テクノロジー

ケース自体はファンを使わずに熱を分散させる優れた方法ですが、2big Networkd には、ケース内の熱が一定温度に達するとファンが動作するようになっている、熱制御による「スマートファン」が装備されています。スマートファンは 2 つの異なる速度で動作し、温度変化に従って自動的に調節されます。

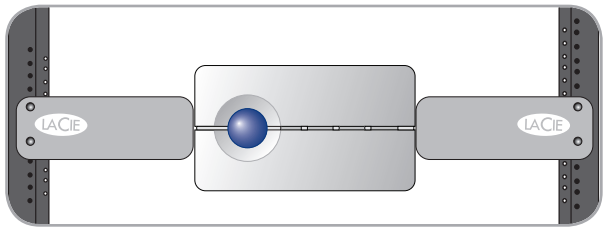
ラックマウント

## 1.4. ラックマウント オプション

■ スタンドアローン インストール

LaCie 2big Network には、便利なドライブ スタンドが同梱されているため、ドライブを垂直に立てて置くことができます。詳しくは、ドライブ スタンドの取扱説明書をご覧ください。

■ ラックマウント インストール




別売のラックマウント キットまたは LaCie d2 デスク ラック を使えば、LaCie 2big Network を標準の 19 インチ コンピュータ ラックに組み込むことができます。詳細については、LaCie ラックマウント キットまたは LaCie d2 デスク ラック の取扱説明書をご覧ください。

## 1.5. ドライブの外観

### ■ 前面/1 クリック データ共有

LaCie 2big 前面の青色ボタン (A) を使うと、自動的にデータをUSB キーから 2big にコピーできます。USB キーを 2big の背面の USB ポートに接続して、ボタンを押すだけです。USB キーのすべてのデータが自動的に 2big の新しいシェアにコピーされ、ネットワーク上でいつでもデータを使用できるようになります。

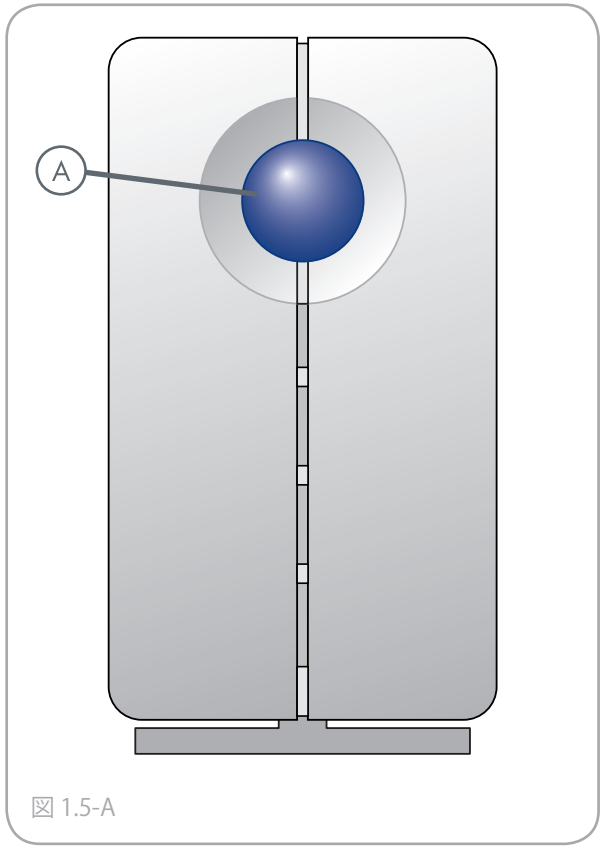



図 1.5-A

■ 背面図

1. RAID 選択スイッチ
2. オフ/自動/オン スイッチ
3. USB 2.0 拡張ポート
4. Ethernet ポート
5. 電源入力接続
6. ドライブ ロック
7. ドライブ トレイのハンドル
8. 左ドライブ状態 LED
9. 右ドライブ状態 LED

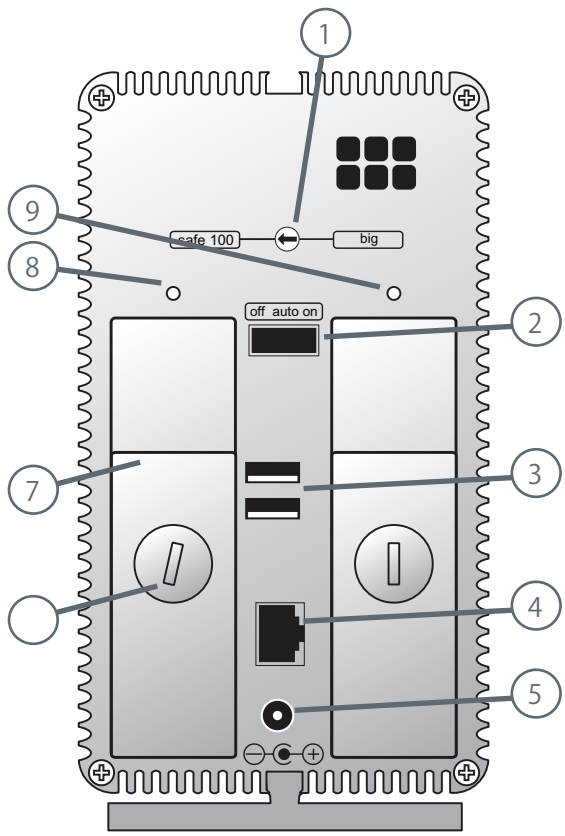


図 1.5-B

**重要な情報:** 電源障害が発生すると 2big Network は自動的に再起動します。

**注意:**過熱を防ぐため、LaCie 2big は換気のよい場所に設置し、コントローラ チップ周辺に十分な空気流を確保してください。また、換気ファンの動作が妨害されないようにしてください。

付属のプラスチック製スタンドとゴム足を使って Two Big を設置表面から浮かせ、放熱効果を高めてください。

環境要件:

温度: 0 – 35° C (32 – 95° F)

動作湿度:20 ～ 80%、結露なきこと

保管湿度: 10 ～ 90%、結露なきこと

## 1.6. ケーブルおよびコネクタ

### ■ Gigabit Ethernet

**Ethernet 記号**

このアイコンによって簡単に Ethernet インタフェースを識別できます。これらのアイコンは、2big Network の後ろおよび、一部のコンピュータの Ethernet ポート コネクタの横に記載されています。

**Ethernet 記号**

**Gigabit Ethernet ケーブルおよびコネクタ**

Gigabit Ethernet デバイスを接続する使用されるケーブルとコネクタは、次のとおりです。

**Gigabit Ethernet コネクタ**

# 2. LaCie 2big Network のセットアップ

指示に従って 2big Network を有効にし、実行してください。

| セットアップの手順 | | |
|---|---|---|
| ステップ 1 | 2.1. ドライブをオンにする | 15 ページ |
| ステップ 2 | 2.2. Ethernet ケーブルを接続する | 16 ページ |
| ステップ 3 | 2big Network に接続する<br>2.3, LaCie Ethernet Agent に接続する(Windows)<br>2.4, IP Configurator Wizard に接続する (Mac)<br>または<br>2.5, DHCP サーバなしで LAN に 2big Network を接続する | <br>17 ページ<br>19 ページ<br><br>20 ページ |

## 2.1. ドライブをオンにする

電源キットは次の 2 本のケーブルから構成されています。1 本 (A) は LaCie ドライブに接続するケーブルで、もう 1 本 (B) は壁コンセントまたはサージ プロテクタなどの電源に接続するケーブルです。

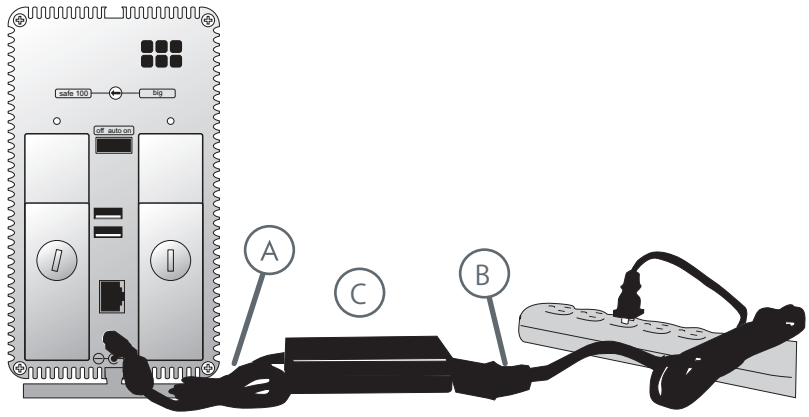
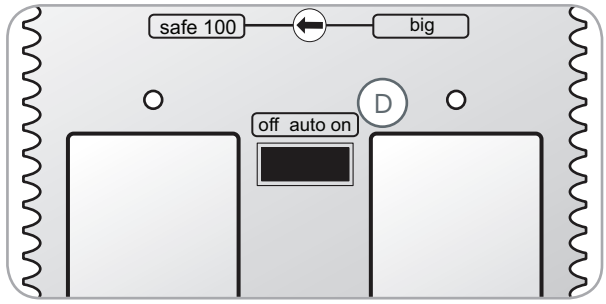



図 2.1

1. ケーブル **A** を LaCie ドライブ に接続します。
2. ケーブル **B** を電源装置 (**C**) に接続します。
3. ケーブル **B** をサージ プロテクタまたは壁コンセントに接続します。
4. ドライブ背面の電源スイッチを ON の位置 (**D**) にして、ドライブのスイッチを入れます。




**注意:** LaCie ドライブ付属の専用 AC アダプタのみを使用してください。他の LaCie 製品の電源装置や他のメーカーの電源装置は、使用しないでください。他の電力ケーブルや電源装置を使用すると、デバイスを損傷し、保証の対象外となる場合があります。

本製品を移動するときは、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さずに移動すると、デバイスが損傷して保証の対象外となる恐れがあります。

**技術面での注意:** LaCie ハード ディスクは 100V ～ 240V の間で自動的に電源の切り替えを行うため、海外でもご使用いただけます。海外でご使用になる場合は、適切なアダプタまたはコードをご用意ください。不適切なアダプタの使用によりデバイスに損傷が生じた場合、当社では責任を負いかねます。当社認定品以外のアダプタをご使用になると、保証対象外となります。

## 2.2. Ethernet ケーブルを接続する

通常のデスクトップ ハード ディスクとは異なり、2big Network はネットワークに接続されているときにのみアクセス可能で、コンピュータに直接接続されるわけではありません。

**Ethernet ケーブルを接続するには**

1. ドライブの電源を入れます。「2.1. ドライブをオンにする」を参照してください。
2. Ethernet ケーブルを LaCie 2big Network の背面にある Ethernet ポートに接続します(図 2.2-A)。
3. Ethernet ケーブルのもう一方の端子をルータの空いている Ethernet ポートに接続します(図 2.2-B)。ネットワークがドライブを認識するには数秒かかることがあります。

手順 3 LaCie Ethernet Agent に接続する (Windows)またはIP Configurator Wizard に接続する (Mac)に進みます。

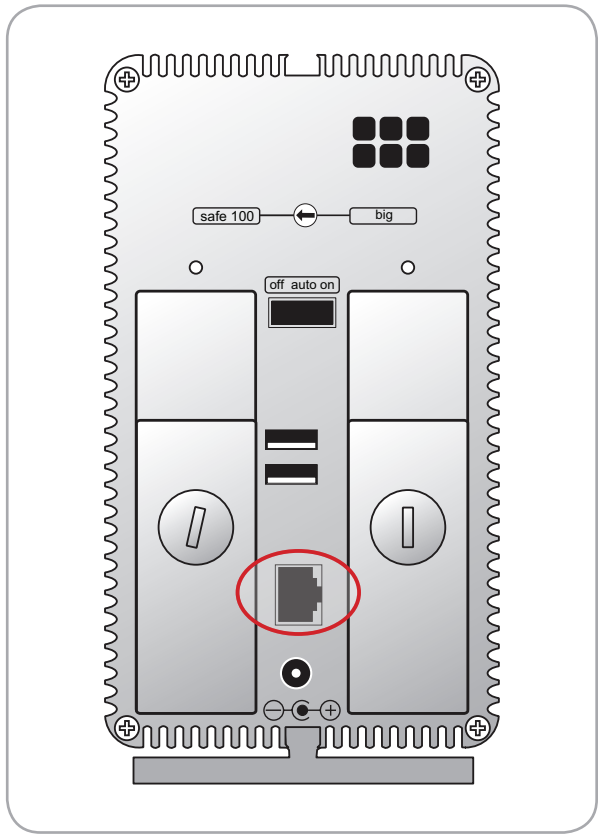



図 2.2-A

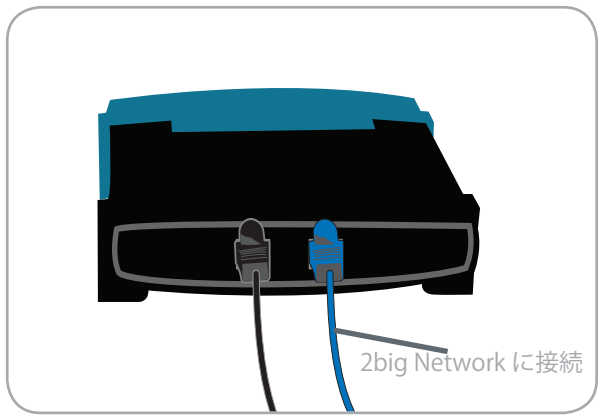



図 2.2-B

## 2.3. LaCie Ethernet Agent に接続する(Windows)

LaCie Ethernet Agent は、ネットワークのストレージ デバイスに接続されているすべてのネットワークを検出し、簡単な接続方法を提供したり、設定を行ったりします。

エージェントのインストールが終了し実行されると、タスクバーに, Ethernet エージェントが表示され、自動的にネットワーク上のストレージ デバイスを検索します。新しいデバイスが見つかると、デバイス名を含む情報バブルが表示されます(図 2.3-B)。

Ethernet Agent で LaCie 2big Network を見つけると、2big Network のすべてのシェアに接続し、NAS 管理ページにログインし、2big Network のネットワーク設定を設定したりコンピュータのドライブとしてマッピングしたりできます。これらはすべて Ethernet Agent メニューから実行できます。

LaCie Ethernet Agent アイコン

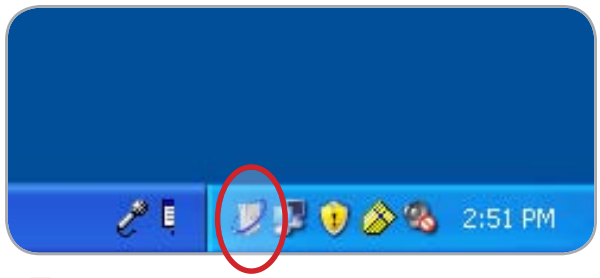



図 2.3-A

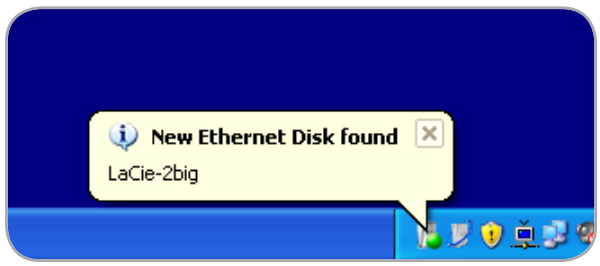



図 2.3-B

### LaCie Ethernet Agent をインストールするには

1. LaCie 2big Network CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [マイ コンピュータ] に CD ドライブが表示されます。CD アイコンをダブルクリックしてから、[**LaCie Ethernet Agent Setup（LaCie Ethernet Agent の設定）**] をダブルクリックします。
3. ウィザードの手順に従ってインストールを完了します。

■ (次のページに続く)

### 2big Network に接続するには

1. [スタート]、[プログラム] の順にクリックして、LaCie Ethernet Agent を選択します。システムトレイ (図 2.3-C) に Ethernet アイコンが表示され、エージェントによって自動的に 2big Network およびネットワーク上にあるその他のストレージ デバイスが検出されます。
2. システム トレイのアイコンをクリックし、2big Network サブメニュー (図 2.3-E) から **Navigate to www** を選択します。デフォルトのブラウザに 2big Network 管理ページが開きます。
3. 2big Network の管理 (図 2.3-E) にログインするには、次のようにログインします。

   ログイン: **admin**

   パスワード: **admin**
4. [**ログオン**] をクリックします。

3. 2big Networkの管理

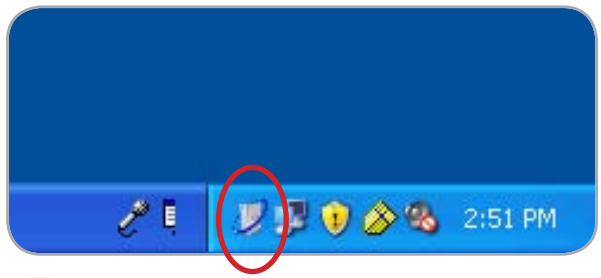



図 2.3-C

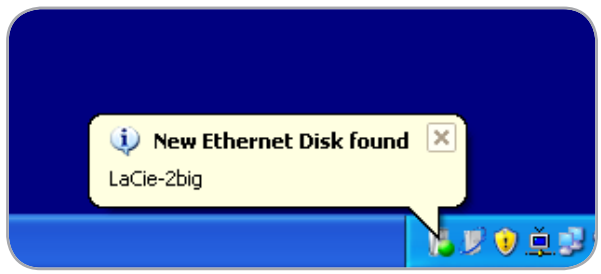



図 2.3-D

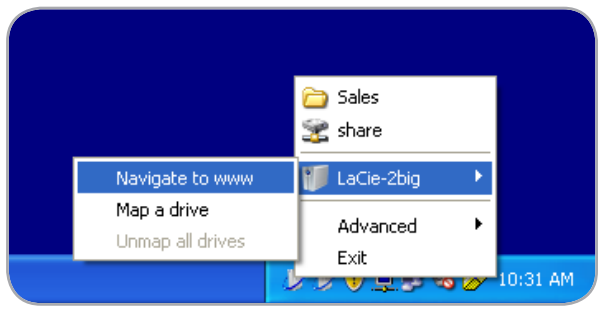



図 2.3-E

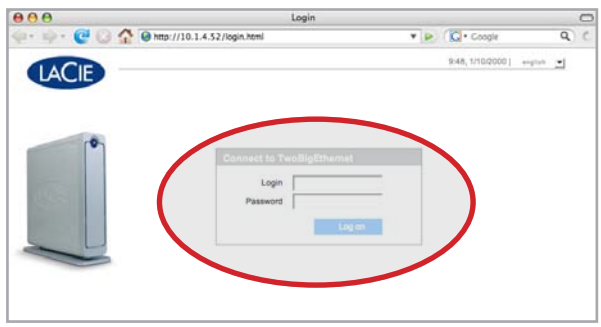



図 2.3-F

## 2.4, IP Configurator Wizard に接続する (Mac)

**注意:** Windows ユーザーは、2.3, Connecting with LaCie Ethernet Agentのセクションを参照してください。

IP Configurator Wizard は、2big Network に接続して初期設定を行うのに役立ちます。

1. LaCie 2big Network CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. デスクトップに CD ボリュームが表示されます。CD アイコンをダブルクリックしてから、[**Install the IP configurator（IP configurator のインストール)**] をダブルクリックします。
3. ウィザードの手順に従ってインストールを完了します。

**重要な情報:** Wizard インストーラでは、インストールを完了するのに管理者権限が必要となります。

4. アプリケーション フォルダから **[Utilities (ユーティリティ)]**、**[LaCie IP Configurator] の順に選択します。**
5. ウィザードの指示に従って手順を進めます。ウィザードによって 2big Network (IP アドレスによって表示) が配置されたら、これを選択し、[**接続**] を選択します(図 2.4-A – 2.4-C)。

図 2.4-A

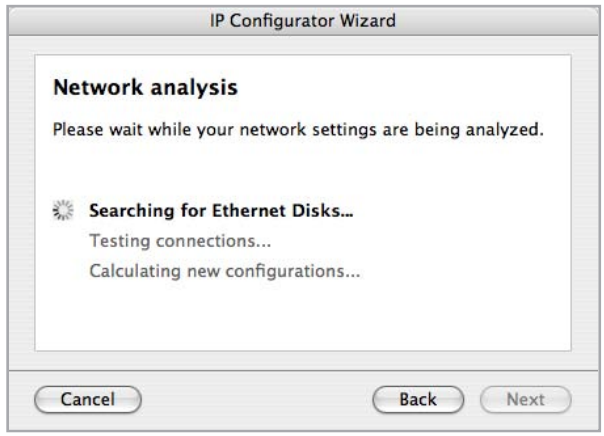



図 2.4-B

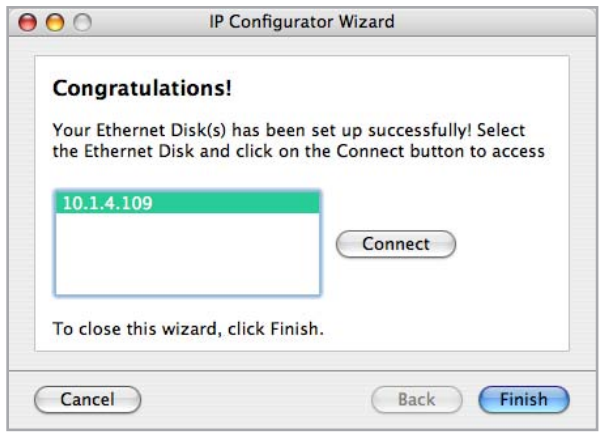



図 2.4-C

## 2.5, DHCP サーバなしで LAN に 2big Network を設定する

サーバで DHCP が有効になっていない場合、LaCie 2big Network に、適切なネットワーク設定を手動で割り当てる必要があります。

### ■ 2.5.1. LaCie Ethernet Agent の設定(Windows)

LaCie Ethernet Agent を使用すると、PC で LaCie 2big Network のネットワーク設定を一番簡単に変更できます。ネットワーク設定ソフトウェアのインストールの詳細については、2.3 LaCie Ethernet Agent に接続するのセクションを参照してください。

1. LaCie Ethernet Agent を起動します (2.3 LaCie Ethernet Agent に接続するのセクションを参照してください)
2. システムトレイの Ethernet Agent アイコンをクリックし、**[Advanced (詳細設定)] > [Configuration (設定)]** (図 2.5.1-A) の順に選択します。Ethernet Agent 設定ウィンドウ (図 2.5.1-B) が開きます。
3. DHCP ボックスのチェックを外します。
4. ユーザーのネットワークに合うようにネットワークの設定を変更します。
5. **[Apply (適用)]** をクリックします。

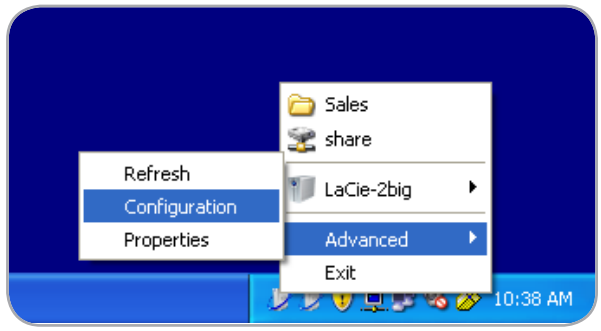



図 2.5.1-A

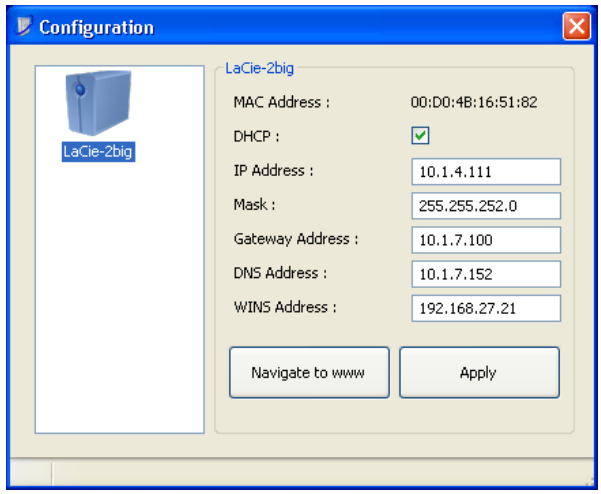



図 2.5.1-B

### ■ 2.5.2.LaCie IP Configurator の設定 (Mac)

LaCie IP Configurator を使用すると、Mac で LaCie 2big Network のネットワーク設定を一番簡単に変更できます。ネットワーク設定ソフトウェアのインストールの詳細については、「2.4.IP Configurator Wizard に接続するのセクションを参照してください。

1. アプリケーション フォルダから **[Utilities (ユーティリティ)]** 、**[LaCie IP Configurator]** の順に選択します。
2. ウィザードが開いたら、[**Advanced Mode…(アドバンス モード…)**
3. DHCP ボックスのチェックを外します(図 2.5.2)。
4. ユーザーのネットワークに合うようにネットワークの設定を変更します。
5. **[Apply (適用)]** をクリックします。

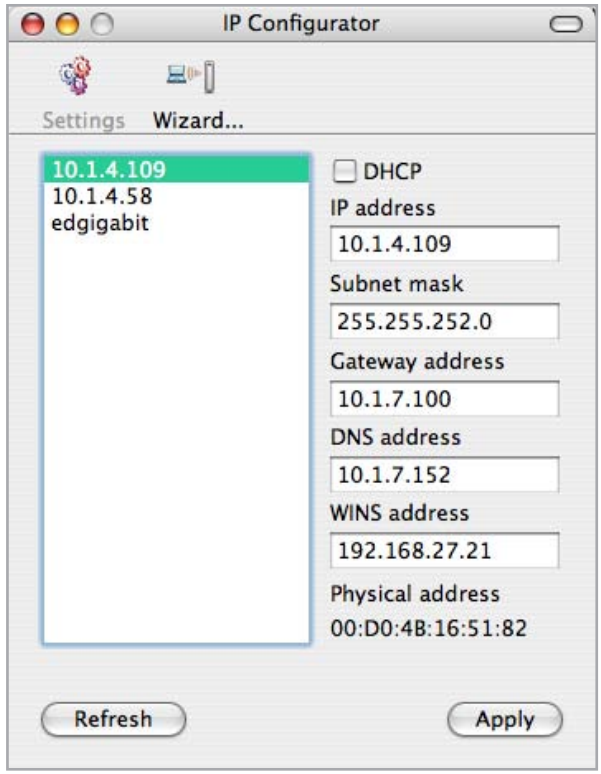



図 2.5.2

## 2.6. 2big Network の切断 (Ethernet 接続)

Ethernet の接続を解除するには、2 つの方法があります。

- 電源スイッチを**オフ**の位置に移動します。システムはシャットダウンし、電源が切れます。シャットダウン処理が終わったら、Ethernet ケーブルを安全に取り外すことができます。
- NAS 管理ページから、**[System (システム)] > [Maintenance (メンテナンス)] > [Shut down (シャットダウン)]** をクリックします(図 2.6)。シャットダウン処理が終わったら、Ethernet ケーブルを安全に取り外すことができます。詳しくは、セクション 3.7.5.4 シャットダウンを参照してください。

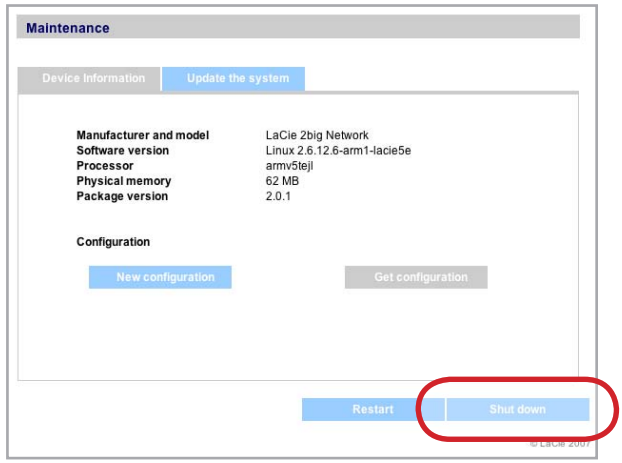



図 2.6

**重要な情報:** シャットダウンの際に転送中のデータは、中断およびデータが消失する可能性があります。シャットダウンの前に 2big に接続しているユーザーがいないことおよび転送中のデータがないことを確認してください。

# 3. LaCie 2big Network の管理

LaCie 2big Network には、ハード ディスクを設定したり、ユーザーを管理するための使いやすい Web ベースのツールが備わっています。このツールは、ここでは NAS (Network Attached Storage) 管理ページとして参照します。

ブラウザを使用 (すべてのユーザー)、IP Configurator (Mac ユーザー)を使用、あるいは Ethernet Agent (Windows ユーザー) を使用している場合、NAS 管理ページへのアクセスは簡単です。

- 「admin」としてログインした場合、ページの左側にナビゲーションおよび LaCie 2big Network の設定を手助けするための一連の青色のナビゲーション リンクが表示されます。(図3)セクション 3.4 ユーザー: ユーザーを追加、削除、変更、およびフォルダにアクセス権限を割り当てます。
- セクション 3.5 グループ: グループを追加、削除、変更、およびユーザーをグループに追加、グループにアクセス権限を割り当てます。
- セクション 3.6 シェア: シェアを作成、削除、変更、およびアクセス制限を変更します。
- セクション 3.7 システム: システム設定を変更、ディスクおよび RAID 設定を管理、システム アップデートを管理します。
- セクション 3.8 参照: ファイルおよびフォルダにアクセス、ファイルをアップロードおよびダウンロード、ファイルを削除します。

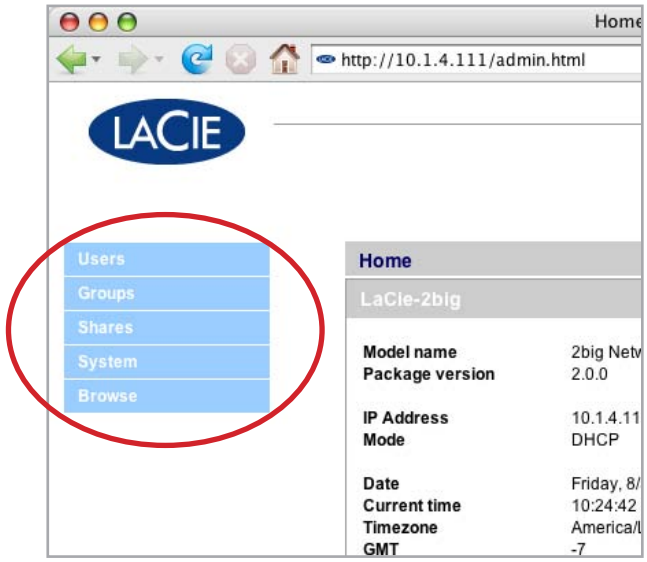



図 3

## 3.1. NAS 管理ページへのアクセス

**注意:** NAS 管理ページにアクセスする最も簡単な方法は、LaCie Ethernet Agent (Windows用、セクション 2.3を参照) または LaCie IP Configurator (Mac用、セクション 2.4を参照) を使用することです。

**ブラウザを使って NAS 管理ページにアクセスするには**

1. ブラウザの URL (Web アドレス) フィールドに、次のいずれかを入力します。
   **http://lacie-2big** (図 3.1-A)

   または

   **http://IP address** (図 3.1-B)
   Mac で LaCie IP Configurator Wizard (セクション 2.4) または Windows PC で LaCie Ethernet Agent (セクション 2.3) を実行して IP アドレスを見つけます。

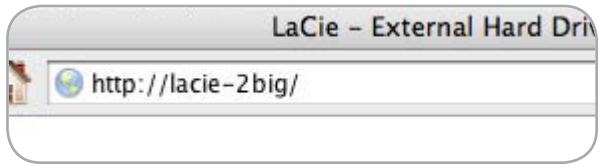



図 3.1-A

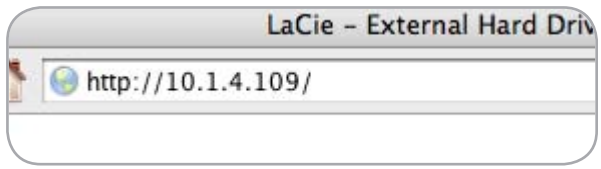



図 3.1-B

**技術面での注意:** LaCie 2big の IP アドレスは、図 3.1-B

2. ログイン ページ (図 3.1-C) で、次のように入力します。
   ログイン: **admin**
   パスワード: **admin**

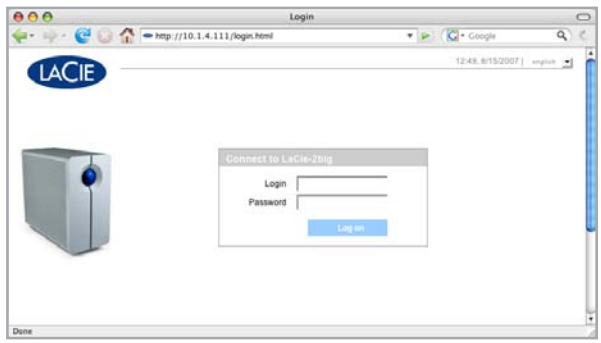



図 3.1-C

**重要な情報:** ログイン名とパスワードは、デフォルトにより両方とも「admin」に設定されています。管理パスワードは変更できますが、ログイン名は変更できません。詳細については、セクション 3.4.1 管理者アカウントを参照してください。

「admin」としてログインした場合、NAS 管理ページが開きます。非管理者ユーザーの場合は、ファイルの参照ページが開きます。

## 3.2. 表示言語の設定

初期設定では、表示言語はブラウザの言語に設定されています。ブラウザの表示言語がサポートされていない場合、2big の管理はデフォルトにより英語となります。管理ページの右上のメニューから言語を選択して、いつでも表示言語を変更できます (図 3.2)。示されているように [ログオン] ページからでも変更できるため、最初から選択して言語で表示させることもできます。

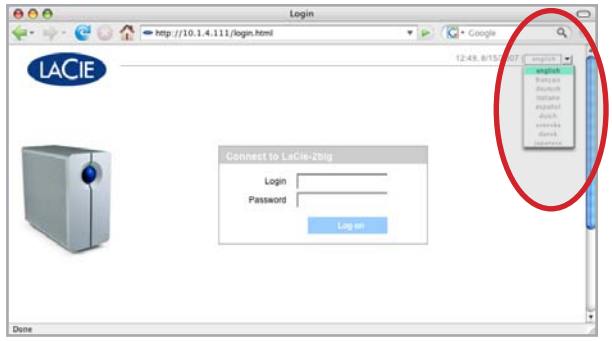



図 3.2

## 3.3. 管理 [Home] ページ

LaCie 2big Network 管理にログインすると、[Home] ページが開きます。このページには、2big のステータスに関する情報が含まれています。ここでのほとんどの情報は、システムの配下にもあります (セクション 3.7 システムを参照)。

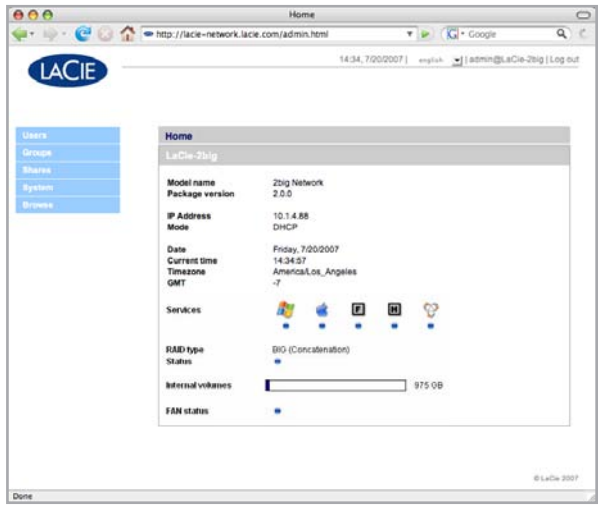



図 3.3

**ファン ステータス** インジケータは、次の 3 つの状態のいずれかになります。

- 青色 – ファンは有効で動作しています。
- 灰色 – ファンは無効になっています。
- 赤色 – ファンに障害が発生しています。2big Network は、障害の発生したファンを使って引き続き動作しようとしますが、システム全体の信頼性は影響を受けます。ファンに障害が発生した場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマ サポートにお問い合わせください。セクション「 8.1 カスタマ サポートの窓口」を参照してください。

**RAID ステータス** インジケータは、次の 3 つの状態のいずれかになります。

- 青色 – ディスクは有効で動作しています。
- 灰色 – ディスクは機能していますがアクセスできません (SAFE モードでデータ再構築中または BIG モードでフォーマット中など。)
- 赤色 – RAID は機能していません。エラー メッセージについてはディスクのページを確認してください。([**システム**] > [**ディスク**])

## 3.4. ユーザー

ナビゲーション バーで [**ユーザー**] リンクをクリックして [ユーザー アカウント] ページを開きます。このページを使用して、ユーザー アカウントを作成、変更、および削除します。

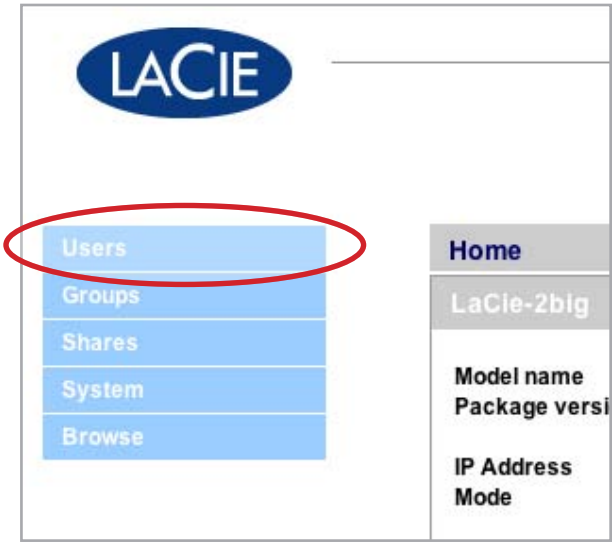



図 3.4

### ■ 3.4.1. 管理者アカウント

2big Network で管理者権限を持つことができるのは、1 人のユーザーだけです。このユーザーのログイン名「admin」を変更することはできませんが、ユーザーのパスワードは変更可能です。

**管理者のパスワードを変更するには**

1. [Users (ユーザー)] ページのユーザー一覧で「admin」をクリックします。[User profile Admin] ページが開きます。
2. [Password (パスワード)] フィールドに新しいパスワードを入力します。[Confirm password (パスワードの確認)] フィールドに再び新しいパスワードを入力します。
3. **[Apply (適用)]** をクリックします。

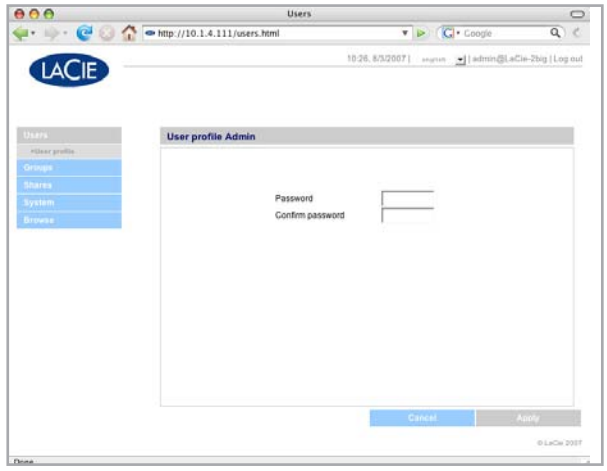



図 3.4.1

## ■ 3.4.2. ユーザーを追加する

**ユーザー アカウントを追加するには**

1. [User Accounts] ページで [**追加**] をクリックします(図 3.4.2-A)。[User Profile (ユーザー プロファイル)] ページ (図 3.4.2-B) が開きます。
2. [Login (ログイン)] フィールドにログイン名を入力します。

**重要な情報:** ユーザー名とパスワードでは、大文字、小文字を区別します。(例、「User」と「user」は異なります。)

3. First name フィールドにユーザーの姓、Last name フィールドに名前を入力します。この情報は、このページでユーザー プロファイルの一部として管理者に対してのみ表示されるだけです。
4. ユーザーがログインする際にパスワードを入力する必要がある場合は、[Password (パスワード)] のチェックをオンにしてください。パスワード ボックスのチェックがオフになっている場合は、ユーザーはログイン名だけでログインできます。
5. 該当する場合は、[Password (パスワード)] フィールドと [Confirm password (パスワードの確認)] フィールドにパスワードを入力します。

**技術面での注意:** パスワードは 8 文字以内である必要があります。

6. ユーザー アカウントを有効にするには (ユーザーのログインを許可)、[**Status (ステータス)Enable (有効化)**] を選択します。

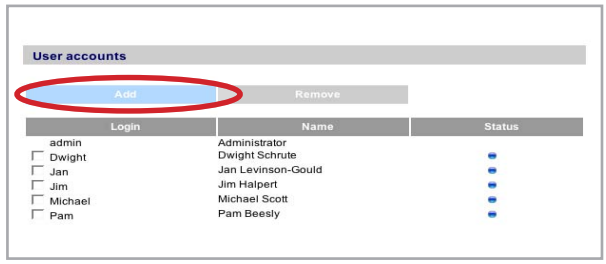



図 3.4.2-A

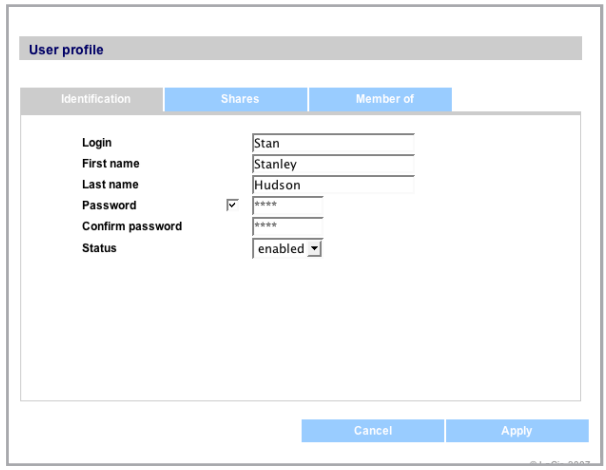



図 3.4.2-B

### ■ 3.4.3. シェアへのユーザー アクセスを設定

2big Network のすべてのシェアは、各ユーザーのプロファイル ページの [**Shares (シェア)**] タブに一覧表示されます。シェアには 3 つのアクセス レベルがあります。

- **読み取りおよび書き込み** – 読み取りおよび書き込みのアクセス権限を持つユーザーは、ファイルをアップロード、ダウンロード、および保存できます。
- **読み取り専用** – 読み取りアクセス権限だけを持つユーザーは、ファイルをアップロードおよび開くことはできますが、保存できません。
- **アクセスなし**

詳細については、3.4.5 アクセス権限についてを参照してください。

**シェアへのユーザー アクセスを設定するには**

1. ユーザーの [User Profile (ユーザー プロファイル)] ページで [**Shares (シェア)**] タブをクリックします。
2. 各シェアで [**Read & Write (読み取りと書き込み)**]、[**読み取り専用**] または [**アクセスなし**] を選択します。デフォルトでは [アクセスなし] が選択されます。

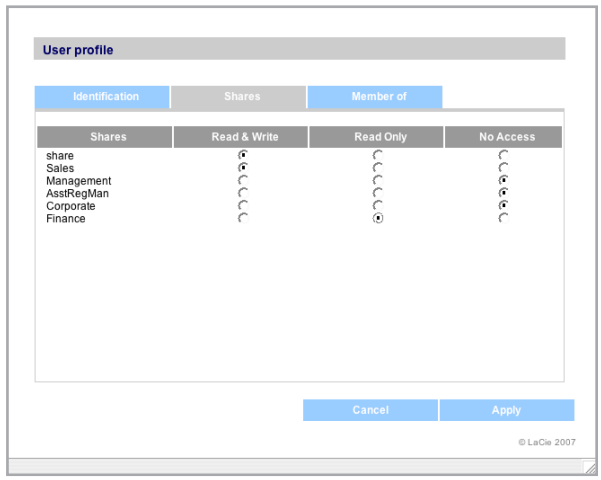



図 3.4.3

### ■ 3.4.4. グループ メンバーシップを設定する

2big Network のすべてのグループは、各ユーザーのプロファイル ページの [**Member of** ] タブに一覧表示されます。ユーザーは、いくつのグループのメンバーにでも属することができます。

詳細については、3.4.5 アクセス権限についてを参照してください。

**グループ メンバーシップを設定するには**

1. ユーザーの [User Profile (ユーザー プロファイル)] ページで [**Member of** ] タブをクリックします。
2. ユーザーを割り当てる各グループのボックスのチェックをオンにします。

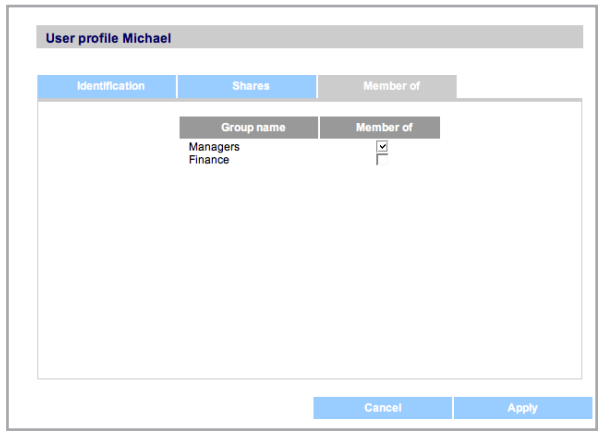



図 3.4.4

**重要な情報:** ネットワークの設定を終了したら [**Apply (適用)**] をクリックして新規ユーザーの設定を保存し、このユーザーをユーザー一覧に追加します。

### ■ 3.4.5. アクセス権限について

アクセス権限は、個々のユーザー　ベースまたはグループ ベースでユーザーに割り当てることができます。ユーザー レベルのアクセスは、より限定されます。

あるユーザーが同一のシェアに対して、グループのーメンバとしてと個人として、異なるアクセス権を持っている場合、アクセス権限によってどのような動作をするのか例を示します。

ユーザー U は、グループ G1 および G2 に属しており、シェア S に対するアクセス権を持っています。

- G1 は S に対して読み取り専用のアクセス権を持っており、G2 は S に対して読み取り-書き込みのアクセス権を持っています。その場合、U は S に対して読み取り-書き込みアクセス権があります。
- U は S に対して読み取り専用のアクセス権を持っており、G2 は S に対して読み取り-書き込みのアクセス権を持っている場合、U は S に対して**読み取り専用**のアクセス権を持っていることになります。

### ■ 3.4.6. ユーザー アカウントを削除する

ユーザー アカウント ページで、削除する各ユーザーの隣にあるボックスのチェックをオンにして、[**削除**] をクリックします。

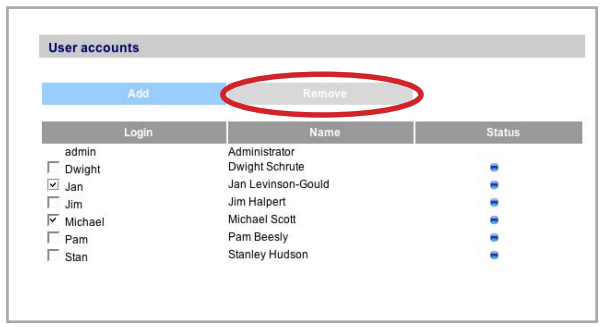



図 3.4.6

### ■ 3.4.7. ユーザー アカウントの編集

管理者は、[ユーザー　アカウント] ページでユーザーのプロファイルを表示し、ユーザーをクリックしていつでもユーザー　アカウントの詳細を編集できます。

## 3.5. グループ

ナビゲーション バーで [**グループ**] リンクをクリックして [グループ] ページを開きます。このページを使用して、グループを作成、変更、および削除します。

さまざまな部門の、職種の異なる多数のさまざまなユーザーが 2big Network にアクセスする必要があるオフィスの設定で 2big Network を使用する場合、グループを設定することは、ユーザーを整理し、シェア対してもっとも適切なアクセス権を与えるのに,とても良い方法です。グループでアクセス可能なシェアを指定し、どのユーザーがどのグループに属しているのかを明確にして、グループ全体を有効化したり無効化したりできます。

図 3.5

### ■ 3.5.1. グループの追加

**グループを追加するには**

1. [グループ] ページで [**追加**] をクリックします。(図 3.5.1-A)[グループ プロファイル)] ページ (図 3.5.1-B) が開きます。

■ (次のページに続く)

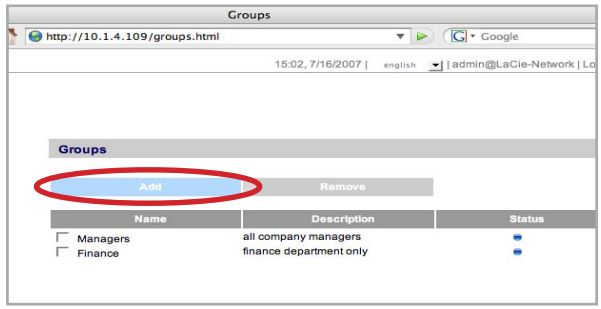



図 3.5.1-A

2. グループの名前および説明を入力します。説明は、このページでグループ プロファイルの一部として管理者に対してのみ表示されるだけです。
3. [enabled (有効化)] を選択して、変更が適用されたらすぐにグループをアクティブにします。
4. 2big Network のすべてのユーザーが、ユーザー列に一覧表示されます。グループに入れるユーザーを選択します。
5. **[Apply (適用)]** をクリックします。

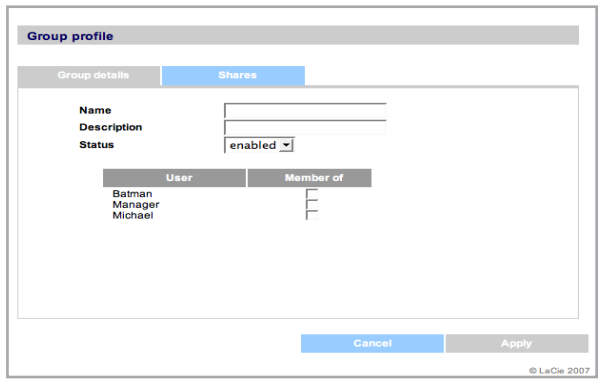



図 3.5.1-B

## ■ 3.5.2. シェアへのグループ アクセスを設定する

2big Network のすべてのシェアは、各グループのプロファイル ページの [**シェア**] タブに一覧表示されます。シェアには 3 つのアクセス レベルがあります。

- **読み取りおよび書き込み** – 読み取りおよび書き込みのアクセス権限を持つグループは、ファイルをアップロード、ダウンロード、および保存できます。
- **読み取り専用** – 読み取りアクセス権限だけを持つグループは、ファイルをアップロードおよび開くことはできますが、保存できません。
- **アクセスなし**

詳細については、3.4.5 アクセス権限についてを参照してください。

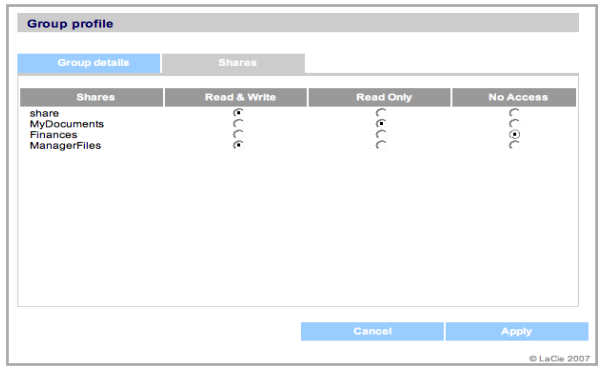



図 3.5.2

**シェアへのグループ アクセスを設定するには**

1. グループの [グループ プロファイル] ページで [**シェア**] タブをクリックします。
2. 各シェアで [**読み取り/書き込み**]、[**読み取り専用**] または [**アクセスなし**] を選択します。デフォルトでは [アクセスなし] が選択されます。
3. **[適用]** をクリックします。

### ■ 3.5.3. グループの削除

グループユーザー アカウント ページで、削除する各ユーザーの横のボックスのチェックをオンにして、[**削除**] をクリックします。

**重要な情報:** グループを削除しても、グループ内のユーザーは削除されません。ユーザー アカウントを削除するには、ユーザー ページに移動します。

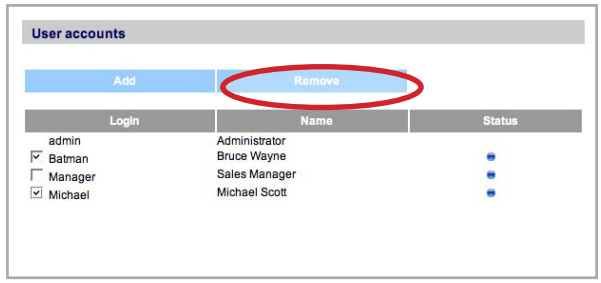



図 3.5.3

### ■ 3.5.4. グループの編集

管理者は、[グループ] ページでグループのプロファイルを表示し、グループをクリックしていつでもグループ プロファイルの詳細を編集できます。

## 3.6. シェア

ナビゲーション バーで [**シェア**] リンクをクリックして [シェア] ページを開きます。このページを使用して、シェアを作成、変更、および削除します。

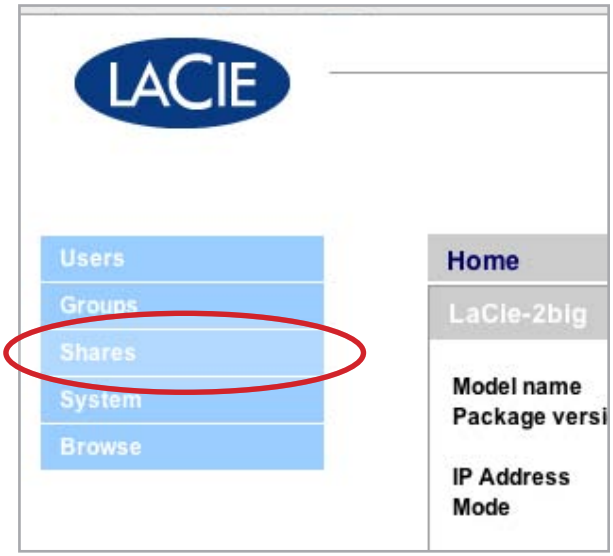



図 3.6

### ■ 3.6.1. シェアの作成

**共有フォルダを作成するには**

1. [シェア] ページで [**追加**] をクリックします。[シェアの詳細] ページ (図 3.6.1) が開きます。
2. シェアの名前および説明を入力します。説明は、このページでシェア プロファイルの一部として管理者に対してのみ表示されるだけです。

**技術面での注意:** シェア名に \ / [ ] : | < > + = ; , ? * @ およびスペースなどは使用しないでください)。

3. ステータス メニューで [**有効化**] を選択し、シェアにアクセスできるようにします。シェアを作成し、しかしアクセスできないようにするには [**無効化**] を選択します。

■ (次のページに続く)

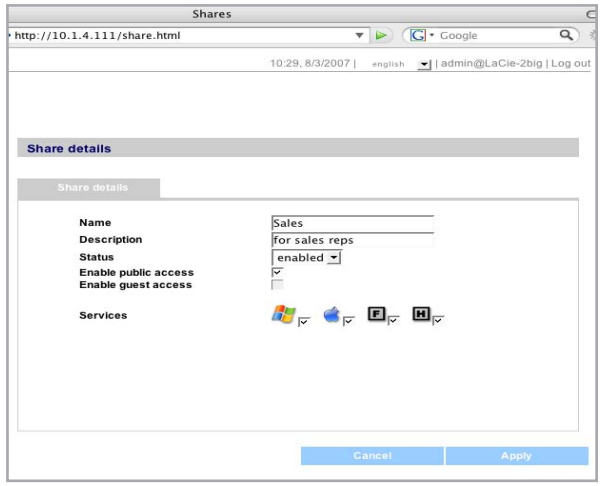



図 3.6.1

4. 読み取り／書き込みモードで誰でもシェアにアクセスできるようにするには、[Enable public access] を選択します。シェアにアクセスするのにパスワードは必要ありません。読み取り／書き込みアクセスにはパスワードを入力させるようにするには、[Enable guest access] を選択します。「ゲスト アクセス」シェアには誰でも読み取り専用モードでアクセスできます。
5. シェアにアクセスするのに使用するプロトコルを選択します。Windows、Apple (SMB)、FTP 、または HTTP から選択できます。

## ■ 3.6.2. USB キーからシェアを作成する

USB キーから自動的にシェアを作成するには、USB キーを 2big Network の背面の USB ポートに接続し、ドライブの前面の青色のボタンを押すだけです。

次のようになります。

- 2big に新しいシェアが作成されます (図 3.6.2)。シェアは USB キーから名前を取得します。シェアの名前はいつでも変更可能です。
- USB キーのすべてのデータが、新しいシェアにコピーされます。2big から USB キーを取り外しても、データはすでに 2big にコピーされているため、使用可能です。

図 3.6.2

**注意:** 1 クリック データ共有 (USB キー) によって作成されたシェアは、USB ハード ディスクのように外付けのストレージ デバイスを接続して作成したシェアとは異なります。USB ハード ディスクを接続して作成したシェアの場合、データにアクセスできるようにするにはディスクを常時接続しておく必要があります。1 クリック データ共有によって USB キーから作成されたシェアは、**2big** 上に作成され、いつでもアクセス可能です。

### ■ 3.6.3. シェアの削除

シェア ページで、削除する各シェアの横のボックスのチェックをオンにして、[**削除**] をクリックします。シェアの削除には、シェアの大きさに応じて、数秒～数分かかります。

**注意:** シェアを削除すると、そのシェア フォルダに含まれるすべてのファイルが削除されます。シェアを削除する前に、保存の必要のあるデータはバックアップを取得しておいてください。

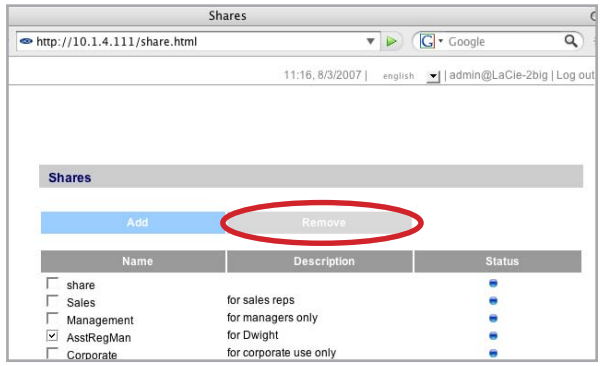



図 3.6.3

### ■ 3.6.4. シェアの編集

管理者は、[グループ] ページでグループのプロファイルを表示し、グループをクリックしていつでもグループ プロファイルの詳細を編集できます。

## 3.7. システム

メインのシステム ページである構成ページに加えて、システム メニューには次の 4 つのサブセクション、ネットワーク、ディスク、ステータス、およびメンテナンスがあります。それぞれ、[**システム**] (図 3.7) をクリックしたときにナビゲーション バーからアクセスできます。

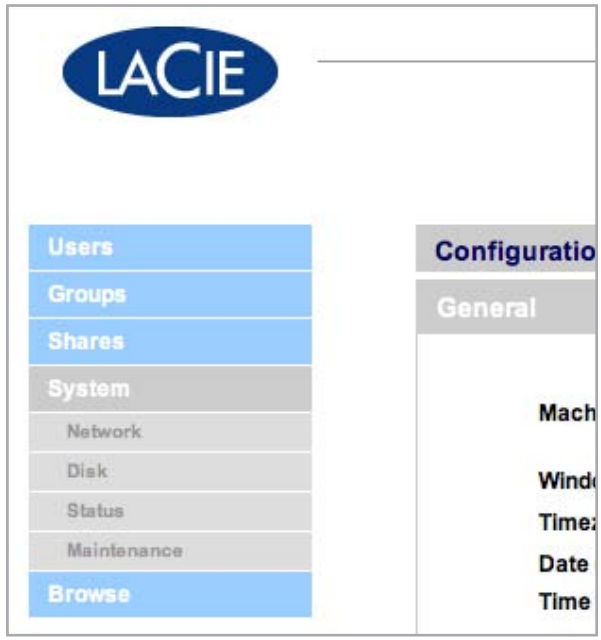



図 3.7

### ■ 3.7.1. 構成

ナビゲーション バーで [**システム**] リンクをクリックして [構成] ページを開きます。このページには、マシン名、Windows ワークグループ、現在の日付や時刻など 2big Network に関する基本的な情報が表示されます。

**マシン名を変更するには、**マシン名 (デフォルトは「LaCie-Network」) を強調表示し、削除して新しい名前を入力します。[**適用**] をクリックします。

**重要な情報:** マシン名に含めることのできるのは、a-z、A-Z、0-9、「-」だけで、先頭が文字で始まる必要があります。

**Windows ワークグループを変更するには、**ワークグループ名を強調表示し、削除して新しい名前を入力します。[**適用**] をクリックします。

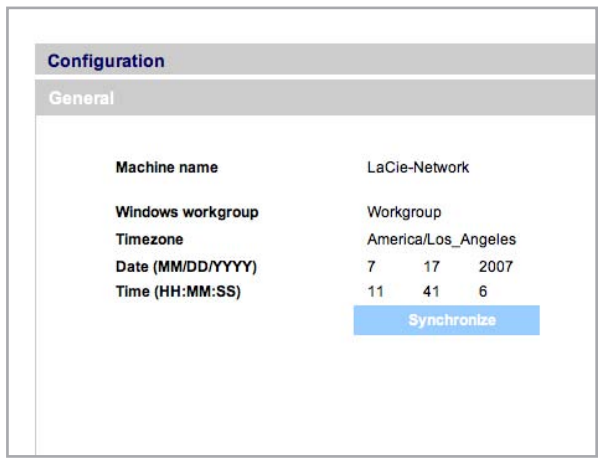



図 3.7.1-A

**タイム ゾーンを変更するには、**現在のタイム ゾーンの場所をクリックしてタイム　ゾーンのドロップダウン メニューを有効にし、自分のタイム ゾーンの場所を選択します。[**適用**] をクリックします。

**技術面での注意:** 2big Network のタイムアウト サイクルは 5 分です。別のタイム ゾーンを選択すると、2big からログアウトされてしまう場合があります。その場合は、再びログインして [構成] ページに戻ります。

**日付と時刻を変更するには、**タイム ゾーンを選択し、[**同期化**] ボタンをクリックします。日付と時間は、自動的にブラウザと同期化されます。[**適用**] をクリックします。

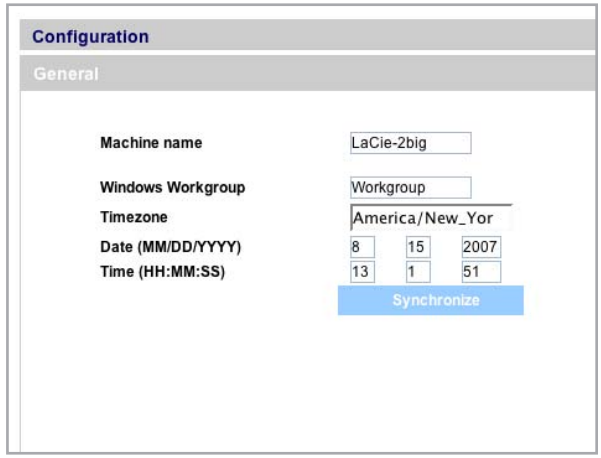



図 3.7.1-B

## ■ 3.7.2. ネットワーク

ネットワーク ページでは、2big Network の IP アドレスを取得する方法、ネットワークの DHCP サーバから自動的に取得するのか、あるいは入力した設定を使用して手動で取得するのかを選択できます。

### 3.7.2.1. DHCP サーバから IP を取得

2big Network が DHCP サーバを使用したネットワークに接続されている場合は、[Automatic IP from DCHP server] ボックスのチェックをオンにします(図 3.7.2)。DHCP サーバは、ネットワークに接続するたびに、2big Network に IP アドレスを割り当てます。

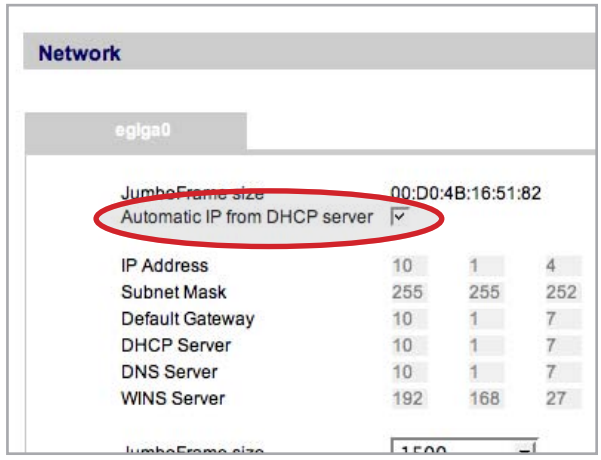



図 3.7.2

### 3.7.2.2. 手動で IP を設定

LaCie 2big Network を DHCP が有効になっていないネットワークに接続する場合は、この方法を使用します。この場合は、LaCie 2big Network に、適切なネットワーク設定を手動で割り当てる必要があります。お使いのネットワーク、および使用するパラメータについては、ネットワーク管理者にご確認ください。詳細については、セクション「2.5 DHCP サーバなしで LAN に 2big Network を接続する」を参照してください。

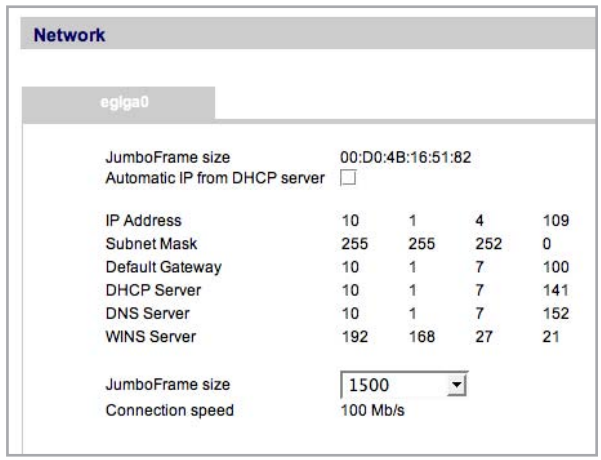



図 3.7.2.2-A

**重要な情報:** DHCP サーバの自動 IP アドレス設定機能が選択・有効化されており、ネットワークに DHCP サーバがない場合、2big Network は最初に DHCP をチェックし、次に APIPA をチェックします。アドレスが見つからない場合、169.254.1.1 ～ 169.254.254.254 の範囲のアドレスが割り当てられます。

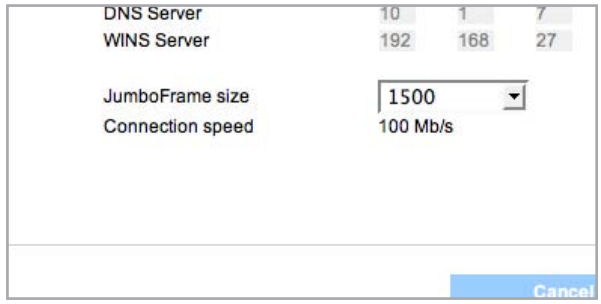



図 3.7.2.2-B

**重要な情報:** 2big Network では、Gigabit Ethernet インタフェースで 1500 バイト以上のフレーム (パケットなど) サイズをサポートしています。JumboFrame でサポートされるフレーム サイズは 9000 バイト (9KB) まで拡張されました。一般に、フレーム サイズが大きいほど、ネットワーク パフォーマンスは良くなります。ネットワークで JumboFrame の機能が設定されていない場合は、JumboFrame のサイズを変更しないでください。ネットワーク管理者に確認してください。

## ■ 3.7.1. ディスク

ディスク ページを使用して 2big Network のディスクをフォーマットし、ディスクおよび RAID レベルに関する情報を表示します。RAID モードに関する情報を表示するには、**RAID** タブをクリックします。

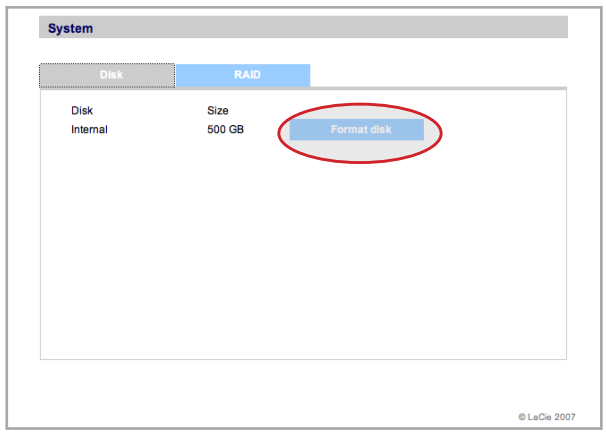



図 3.7.3.1

### 3.7.3.1. ディスクのフォーマット

[**ディスクのフォーマット**] (図 3.7.3.1) をクリックして 2big ディスクをフォーマットし、すべてのデータを削除します。

**注意:** フォーマットすると 2big Network のすべてのデータが削除されます。重要なファイルは、フォーマットする前に別のデバイスにバックアップを取ってください。

### 3.7.3.2. ストレージ容量を追加する

外付けハード ディスクを USB 拡張ポートに接続して、2big Network にストレージ容量を追加することができます。

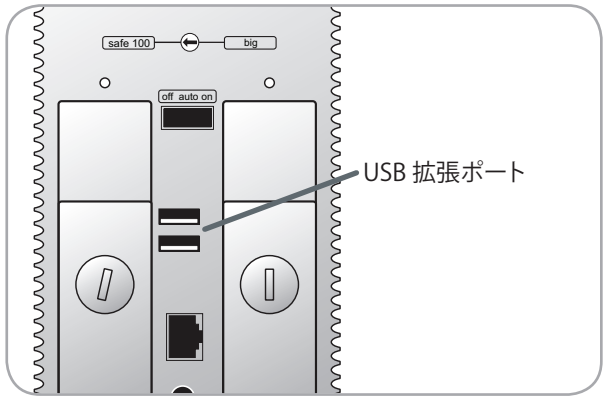



図 3.7.3.2-A

1. 2big Network の電源を入れます。
2. 外付けハード ディスクの電源を入れます。
3. 付属している USB ケーブルを使って、ハード ディスクを 2big Network の USB 拡張ポートの 1 つに接続します (図 3.7.3.2-A)。
4. Web 管理ページで、[ディスク] タブをクリックします。
5. 外付けハード ディスクがシステム ディスクの下に一覧されます。

### 外付けハード ディスクを安全に切断するには

**注意:** 外付けハード ディスクを安全に切断しないと、ファイルが損傷したり、データが消失する恐れがあります。

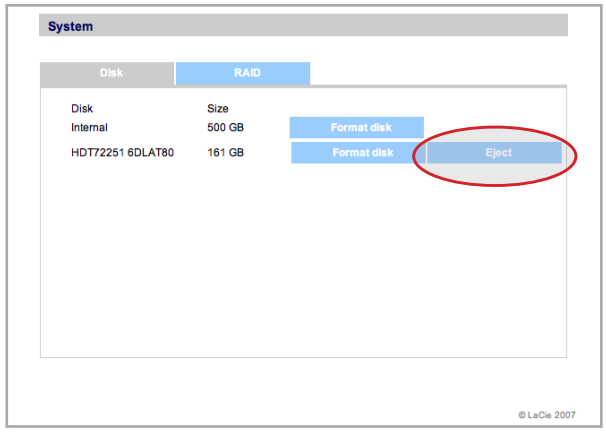



図 3.7.3.2-B

1. 切断するドライブの [**Eject**] ボタンをクリックします(図 3.7.3.2-B)。
2. 確認ダイアログ で [OK] をクリックします。
3. 2big Network は、ドライブを排出します。ドライブが 2big Network. にマウントされたままとして表示される場合があります。**Eject** ボタンが表示されていなければ、安全に USB ケーブルを切断できます。

### 3.7.3.3. 外付けハード ディスクにアクセスする

参照ページには、接続されている外付けハードディスクとパーティションが表示されます。セクション「4. 共有ストレージにアクセスする」を参照してください。

**技術面での注意:**パーティション分割された外付けハード ディスク ボリュームからシェアを作成した場合、最初に付けられる名前は一連の数字と文字になります。名前はシェアのページで変更可能です。

ドライブが認識されると、ユーザーは他のシェアと全く同じようにユーザーにアクセス権を割り当てることができます (デフォルトでは、ユーザーにアクセス権はありません)。セクション「3.4 ユーザー」を参照してください。

**パーティション**

外付け USB ドライブがパーティション化されている場合、各ボリュームは 2big Network で 1 つのシェアとして表示されます (図 3.7.3.3)。デフォルトでは、すべてのサービス (FTP、HTML、他) が有効化されています。

図 3.7.3.3 では、ボリューム「LaCie1」と「LaCie2」は 2big Network に接続されていないパーティション分割された外付けハード ディスクのボリュームで、灰色のステータス インジケータによって示されています。ボリューム「Scranton」と「Stamford」は、現在接続されている外付けハード ディスクのボリュームで、青色のステータス インジケータによって示されています。

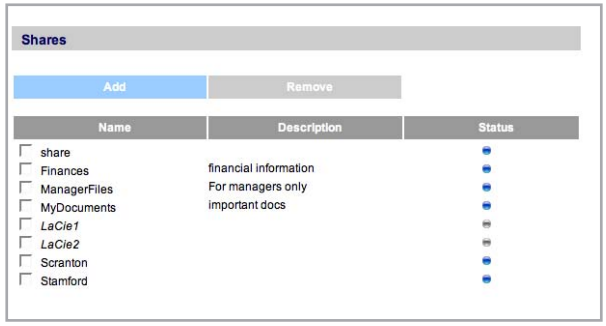



図 3.7.3.3

**重要な情報:** 2big Network では、次のファイル システム、MS-DOS/FAT 32、読み取り専用モードでの NTFS、HFS+ および Linux ファイル システム フォーマット (ext2/ext3/reiserfs) によってフォーマットされているドライブをサポートします。

## ■ 3.7.4. ステータス

ナビゲーション バーで [**システム**] の下の [**ステータス**] をクリックして、システムの [ステータス] ページを開きます (図 3.7.4)。

このページでは、接続済みのユーザー数の表示、ファイル サーバー サービス (Windows、アップル、HTTP、FTP)の無効化、およびシステムログを表示、ダウンロード、削除できます。サービスを無効にするには、無効にしたいサービスに該当する [**Disable**] ボタンをクリックするか、選択を解除します (図 3.7.4)。

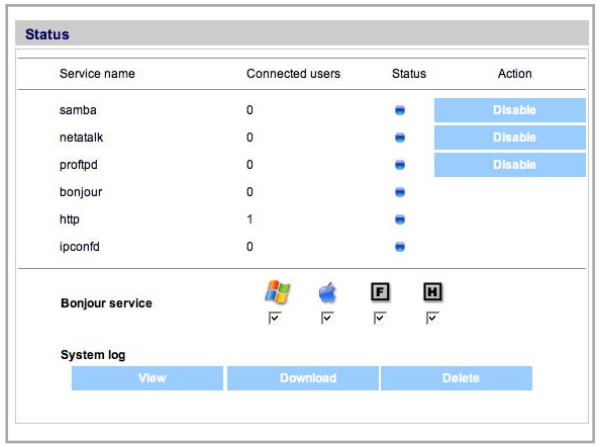



図 3.7.4

## ■ 3.7.2. メンテナンス

ナビゲーション バーで [**システム**] の下の [**メンテナンス**] をクリックして、[メンテナンス] ページを開きます (図 3.7.5)。

このページでは、システム基本情報の表示、アップデートの管理、システムの再起動またはシャットダウン、および新しいシステム設定をロードできます。

■ (次のページに続く)

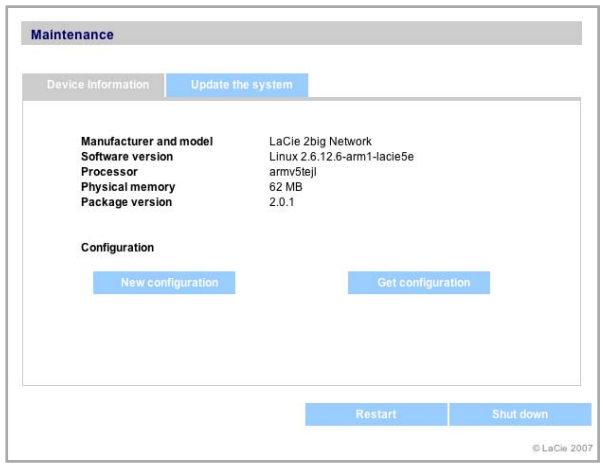



図 3.7.5

### 3.7.5.1. システム設定の保存とロード

2big を再フォーマットあるいはリセットする必要がある場合に備えて、システムの設定を保存しておくのは良い考えです。その後で設定をリロードして、設定、シェア、グループ、およびユーザーが消失しないようにします。

**重要な情報:** シェアのなかみ (ファイル) は、設定ファイルには保存されません。

#### 現在の設定を保存するには

1. **[システム] > [メンテナンス]**の順にクリックします。
2. [**Get Configuration**] ボタン (図 3.7.5.1-A) をクリックします。確認メッセージが表示されたら、[**ファイルを保存**] をクリックします。

- Internet Explorer ユーザー: ブラウザ ウィンドウに設定を定義している XML が表示されます。設定を保存するには、**[ファイル] > [名前を付けて保存]**を選択します。[名前を付けて保存] ダイアログの [**Save as type**] メニューで、**XML Files (*.xml)**を選択し、ファイルを保存する場所を選択します。
- Firefox および Safari ユーザー: ブラウザはファイルをブラウザのデフォルトのダウンロード場所に保存します。設定ファイルは、XML ファイルです。

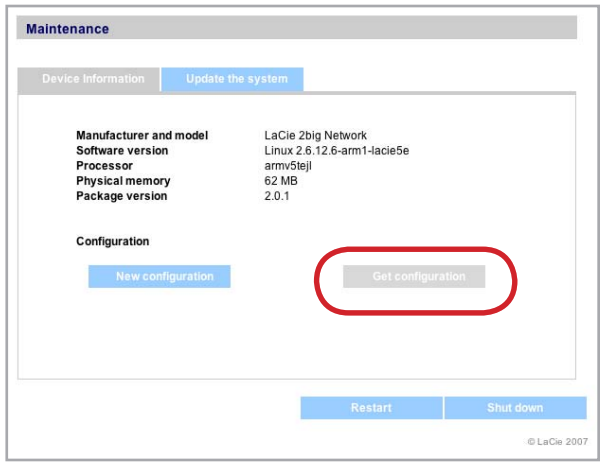



図 3.7.5.1-A

**重要な情報:** 2big Network 上だけに設定ファイルを保存しないでください。データの消失が発生すると、設定ファイルもまた消失してしまいます。

#### 保存した設定をロードするには

1. **[システム] > [メンテナンス]**の順にクリックします。
2. [**New Configuration**] ボタン (図 3.7.5.1-B) をクリックします。
3. [**参照…**] をクリックし、コンピュータから設定ファイルを選択します。
4. **[適用]** をクリックします。

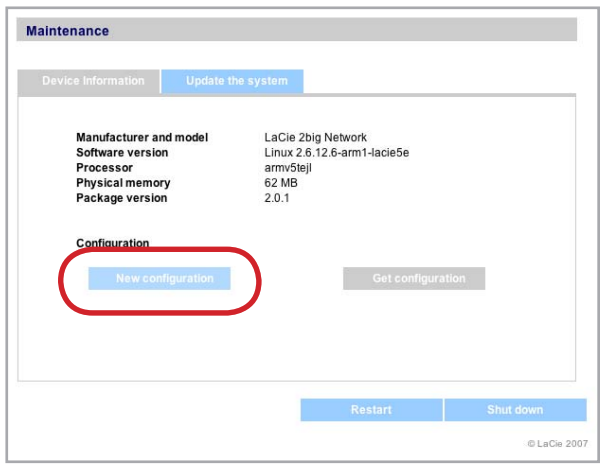



図 3.7.5.1-B

### 3.7.5.2. システムのアップデート

2big Network. ではファームウェアのアップデートが利用できるようになりました。

ファームウェアのアップデートをインストールするには

1. アップデートを、www.lacie.com/support/downloads/からダウンロードします。
2. メンテナンスで [**Update the system**] タブをクリックします(図 3.7.5.2)。
3. [**New Update**] をクリックします。
4. [**参照…**] をクリックし、コンピュータからアップデート ファイルを選択します。
5. **[適用]** をクリックします。

システム アップデートの間は、デバイスにアクセスできません。またシェアにアクセスすることもできません。アップデートが終わったら、ログイン ページが開きます。

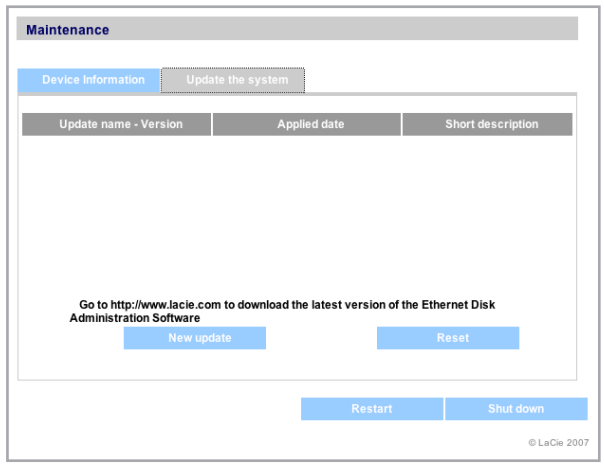



図 3.7.5.2

### 3.7.5.3. 再起動

2big Network を再起動するには、[**再起動**] ボタン (図 3.7.5.3 の**A**) をクリックします。再起動処理には数分かかることがあります。マシンが再起動されたら、ログイン ページが開きます。

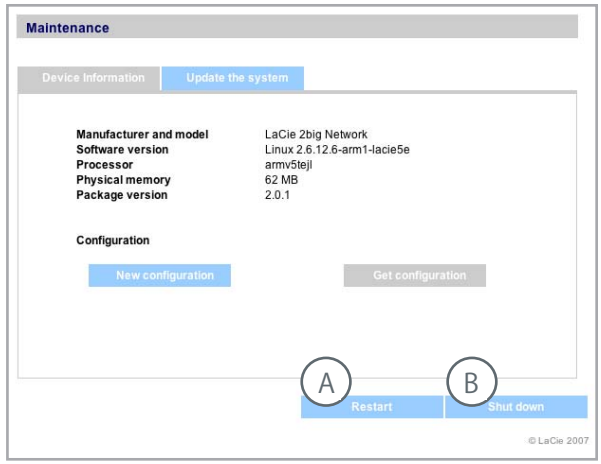



図 3.7.5.3

### 3.7.5.4. シャット ダウン

2big Network を再起動するには、[**シャットダウン**] ボタン (図 3.7.5.3 の**B**) をクリックします。デバイスがシャットダウンした後でも、NAS ページは開いたままです。

**技術面での注意:** 2big のオン/自動/オフ電源スイッチが**自動**に設定されていると、管理上**シャットダウン**ボタンによって自動的に 2big が再起動され、シャットダウンされたままにはなりません。

## ■ 3.7.6. システム ログ

システム ログを使って、LaCie 2big Network でのアクティビティのタイプ、日付、時刻、ソース、およびイベント を確認できます。

システム ログを表示するには、[システム] **> [ステータス] > [表示]**の順に選択します。

**[ダウンロード]** をクリックしてログをダウンロードするか、**[削除]** をクリックして内容をクリアします。

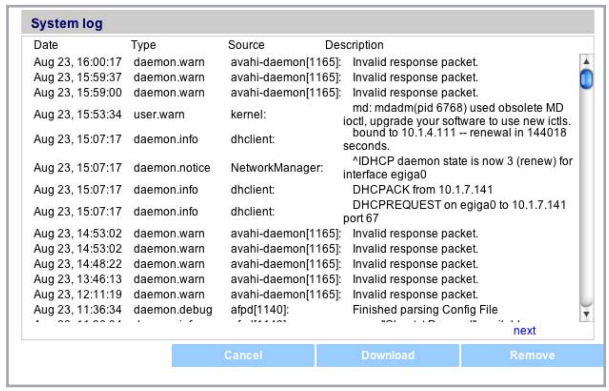



図 3.7.6

# 4. 共有ストレージにアクセスする

## 4.1. Ethernet Agent を使ってシェアに接続する (Windows)

シェアに接続する最も簡単な方法は、Ethernet Agent メニューから選択することです。

1. LaCie Ethernet Agent を起動します。
2. システム トレイの Ethernet Agent アイコンをクリックし、メニューからシェア名 (図 4.1-A の「Sales」) を選択します。
3. Windows Explorer ウィンドウでシェアが開きます (図 4.1-B)。

図 4.1-A

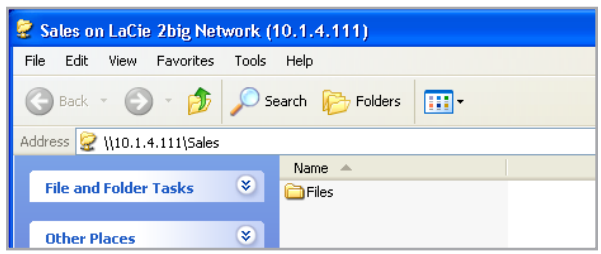



図 4.1-B

## 4.2. Ethernet Agent を使ってドライブをマッピングする (Windows)

接続を高速化し、使いやすくするために、LaCie では 2big Network のシェアをコンピュータのドライブとしてマッピングするよう推奨します。ドライブをマッピングするには

1. LaCie Ethernet Agent を起動します。
2. タスクバーの Ethernet Agent アイコンをクリックし、**[LaCie-2big] > [Map a drive]** (図 4.2-A) の順に選択します。ドライブのマッピング ウィンドウが開きます (図 4.2-B)。
3. メニューからマッピングするシェアを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。.
5. マイ コンピュータの [Network Drive] の下にシェアが表示されます (図 4.2-C)。

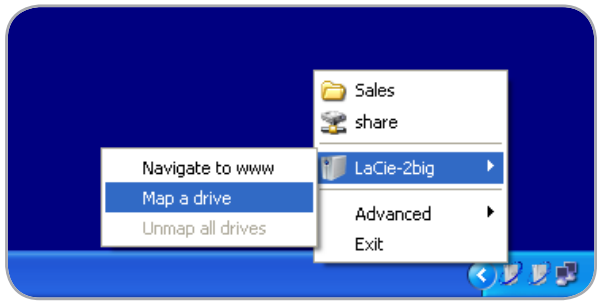



図 4.2-A

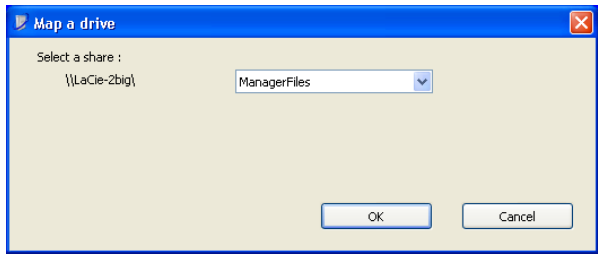



図 4.2-B

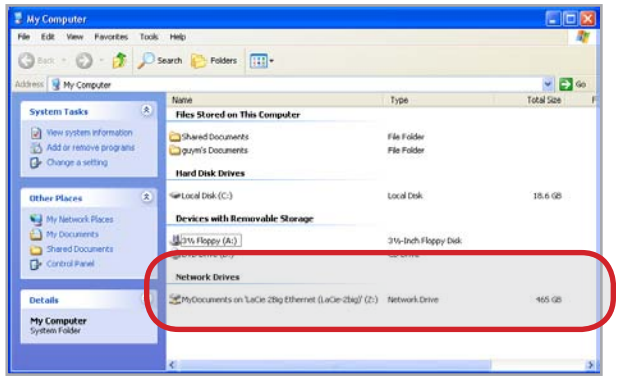



図 4.2-C

**技術面での注意: Windows Me ユーザー** – Windows Me でシェアにアクセスする場合、管理者は、Windows にログインするときと同じユーザー名およびパスワードを持つユーザーを作成する必要があります。これは、Microsoft 社のオペレーティング システムに制限があるためです。

**技術面での注意: Windows 95 および 98 をお使いのユーザー** – Windows 95 および 98 でシェアにアクセスする場合、管理者は、Windows にログインするときと同じユーザー名およびパスワードを持つユーザーを LaCie 2big Network に作成する必要があります。これは、Microsoft 社のオペレーティング システムに制限があるためです。

## 4.3. NAS 管理ページ – 参照

NAS 管理ページのファイルにアクセスするには、ログインするだけです。一般のユーザーは、2big Network (図 4.3) のシェアに対して、直接アクセスの権限を持っていますが、管理機能に対してはアクセス権はありません。管理者が 2big Network に保存されているファイルにアクセスするには、ナビゲーション バーで [**参照**] をクリックする必要があります。管理者は、すべてのファイルにアクセスできます。その他のユーザーは、管理者によってアクセス権が与えられたファイルにだけアクセスできます。

すべてのシェアは、ページの左側に一覧されています。シェアのファイルを表示するには、シェア名をクリックします。

管理者が 2big Network の管理に戻るには、[**管理**] ボタンをクリックします。管理者以外は、この機能は使用できません。

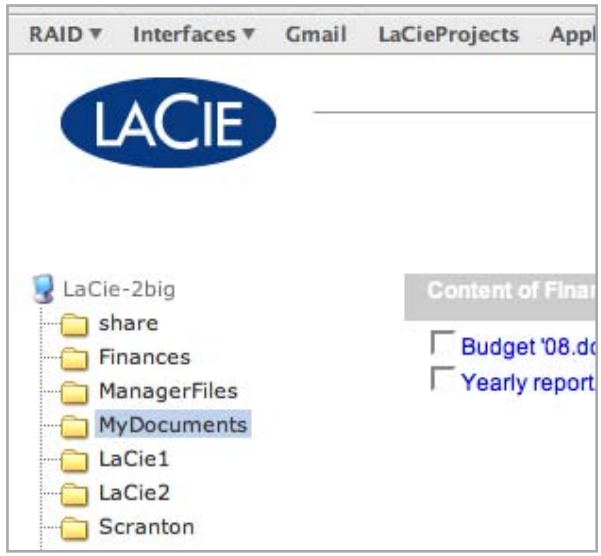



図 4.3

### ■ 4.3.1. ファイルのアップロード

**シェアにファイルをアップロードするには**

1. ファイルのアップロード先となるシェア (フォルダ) をクリックします。
2. [**ファイルのアップロード**] をクリックします。
3. [**参照…**] をクリックします。ファイル ブラウザが開きます。アップロードするファイルを選択してください。
4. [**適用**] をクリックします。

**技術面での注意:** アップロード処理が終了した後で、フォルダにファイルが表示されない場合は、フォルダ名を再びクリックしてフォルダの内容の表示をリフレッシュしてください。

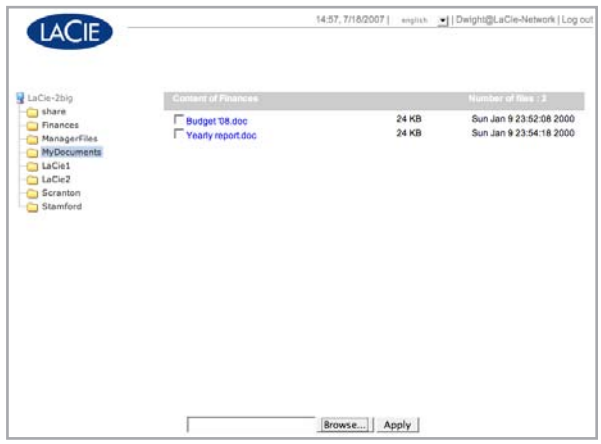



図 4.3.1

### ■ 4.3.2. ファイルのダウンロード

**ファイルをダウンロードするには**

1. ファイルをダウンロードするシェア（フォルダ）をクリックします。
2. ダウンロードの方法はお使いのブラウザによって異なります。

❖ Internet Explorer: ファイル名を右クリックし、**[対象をファイルに保存]を選択します**。

❖ Firefox: ダウンロード ダイアログでファイル名をクリックし、[**OK**] をクリックします。

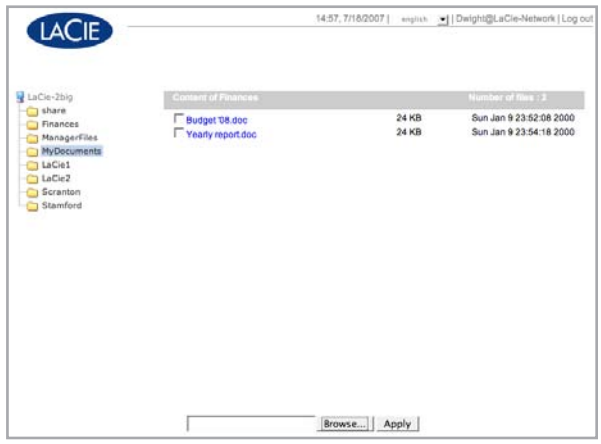



図 4.3.2

### ■ 4.3.3. ファイルの削除

**シェアからファイルを削除するには**

1. ファイルを削除するシェア (フォルダ) をクリックします。
2. 削除するファイルを選択してください。
3. Delete files**] をクリックします**。.
4. 確認ダイアログ で [**OK**] をクリックします。

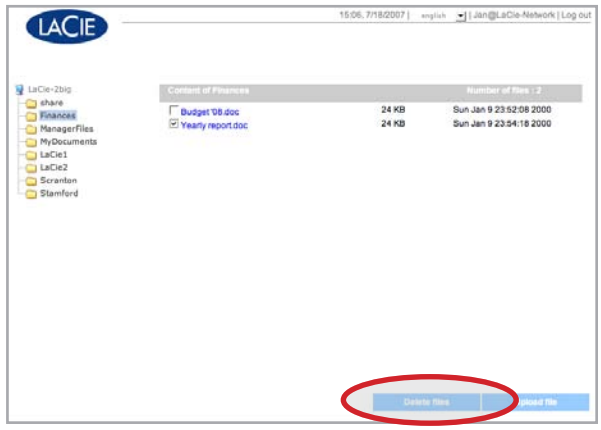



図 4.3.3

### ■ 4.3.4. ログアウト

NAS 管理ページの右上の [**ログアウト**] をクリックして、いつでもログアウトできます。

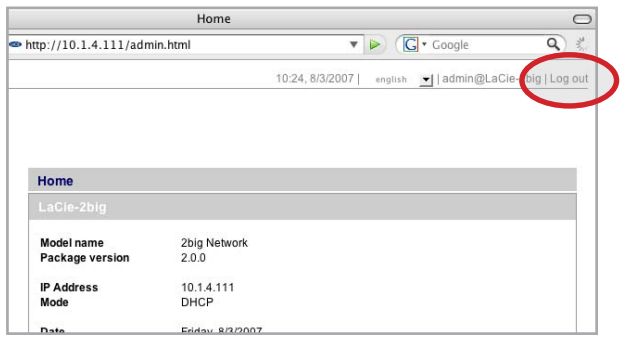



図 4.3.4

## 4.4. マイ ネットワーク – Windows Vista/XP/2000 ユーザー

**重要な情報:** LaCie 2big Network の電源を入れたばかりの場合、ネットワークに表示されるまで数分かかることがあります。

1. Windows から シェアにアクセスするには、[マイ ネットワーク] を探し、[**Microsoft Windows Workgroup**] を選択します。デフォルトでは、2big Network の名前は、**LaCie-2big Network (Lacie-2big)** (図 4.4-A) です。

   または、Windows エクスプローラのアドレス フィールドに次のように入力してシェアにアクセスできます (図 4.4-B.)。

   **\\LaCie-2big\[share name]**
   **\\[IP address]\[share name]** LaCie Ethernet Agent を実行して IP アドレスを見つけます (セクション 2.3)。

   FTP アクセスの場合は、**ftp://LaCie-2big** または **ftp://[IP address]**

2. 開いたログオン ウィンドウで、次のように入力します。ログイン: **admin**パスワード: **admin**(このユーザー名とパスワードは出荷時のデフォルトです。すでにユーザーを作成済みの場合は、そのユーザー名とパスワードを入力してください。)
3. LaCie 2big Network はネットワーク上で 1 つの共有フォルダのあるドライブとして表示されます。接続を高速化し、使いやすくするために、ネットワーク　ドライブを割り当てるよう推奨します。詳細については、「4.2 Ethernet Agent を使ってドライブをマッピングする」 (Windows ユーザーのみ) の章を参照してください。

■ (次のページに続く)

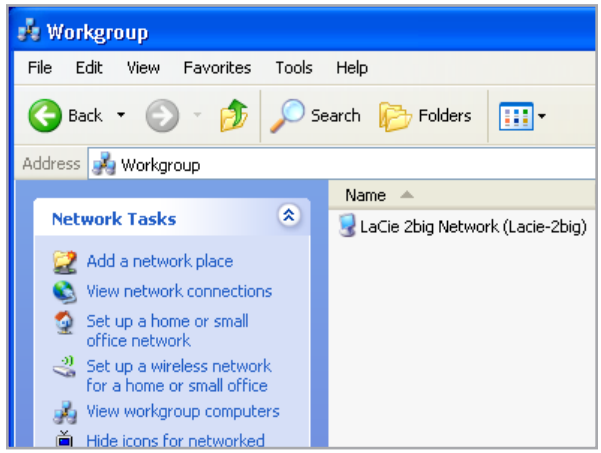

Workgroup
File Edit View Favorites Tools Help
Back Search Folders
Address Workgroup
Network Tasks
Add a network place
View network connections
Set up a home or small office network
Set up a wireless network for a home or small office
View workgroup computers
Hide icons for networked
Name
LaCie 2big Network (Lacie-2big)

図 4.4-A

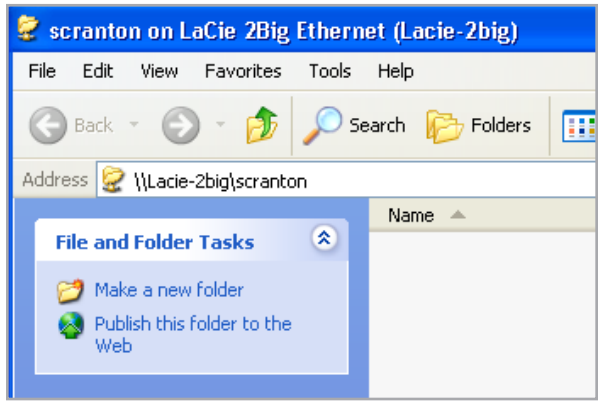

scranton on LaCie 2Big Ethernet (Lacie-2big)
File Edit View Favorites Tools Help
Back Search Folders
Address \\Lacie-2big\scranton
File and Folder Tasks
Make a new folder
Publish this folder to the Web
Name

図 4.4-B

### ■ Windows 95/98/98SE

[スタート] メニューから、[**検索**] を選択し、その後 [**コンピュータ**] を選択します。サーバー名として **LaCie-2big** を入力して、[**検索開始**] をクリックします。Windows でシステムの検索を開始し、しばらくすると [検索結果] ウィンドウに LaCie 2big Network が表示されるはずです。アイコンをクリックすると、ログイン名とパスワードの入力を求められます。

### ■ Windows Me/2000

Windows Me、Windows 2000 をお使いで、ネットワークステーションで LaCie 2big Network が見つからない場合は、Windows の検索機能を使用してください。

[スタート]メニューから、[**検索**] を選択し、その後 [**ファイルまたはフォルダ**] をクリックします。[**検索結果**] ウィンドウで、[**コンピュータ**] を選択します。

[**コンピュータの検索**] ダイアログ ボックスにサーバー名を入力して、[**検索開始**] ボタンをクリックします。デフォルトでは、LaCie 2big Network の名前は「LaCie-Network」で、シェアは「SHARE」です。

## 4.5. Mac をご使用の方

**重要な情報:**LaCie 2big Network の電源を入れたばかりの場合、ネットワークに表示されるまで数分かかることがあります。

1. IP Configurator Wizard を実行します (セクション 2.3を参照)。
2. Wizard は、ネットワークで LaCie NAS ドライブを探します。見つかったデバイスは IP アドレス (図 4.5-A) で表されます。この IP アドレスを書き留めておいてください (たとえば、**10.1.4.109**)。
3. ファインダの [移動] メニューで [**サーバーに接続**] を選択します。
4. サーバのアドレス フィールドに、2big Network の IP アドレスを入力し、[**接続**] をクリックします (図 4.5-B)。

| | |
|---|---|
| SMB アクセス タイプの場合は、次のように入力します: | **smb://LaCie-2big** または **smb://IP address** または **smb://マシン名** |
| FTP アクセス タイプの場合は、次のように入力します: | **ftp://LaCie-2big** または **ftp://IP アドレス** |
| AFP アクセス タイプの場合は、次のように入力します: | **afp://LaCie-2big** または **afp://IP アドレス** |

5. 開いたログオン ウィンドウで、次のように入力します。ログイン: **admin**パスワード: **admin**(このログイン名とパスワードは出荷時のデフォルトです。すでにユーザーを作成済みの場合は、そのユーザー名とパスワードを入力してください。)
6. [**Select Volumes to Mount**] ウィンドウで、マウントするシェアを選択し、[**OK** ] をクリックします (図 4.5-C)。デスクトップにネットワーク ドライブがマウントされ (図 4.5-D)、ファイル転送用にアクセスできるようになります。

■ (次のページに続く)

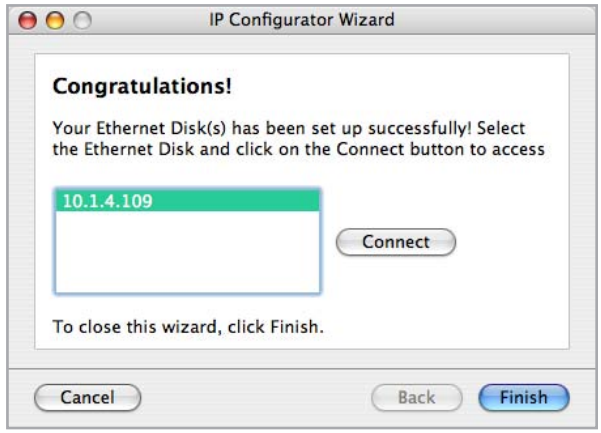



図 4.5-A

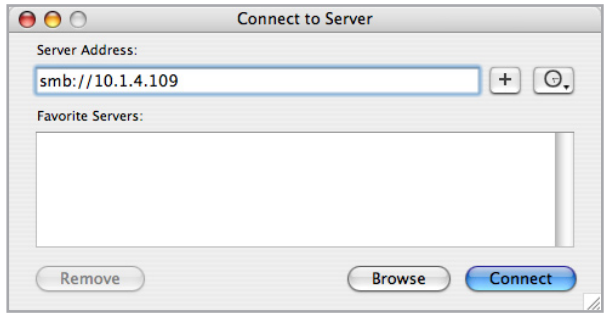



図 4.5-B

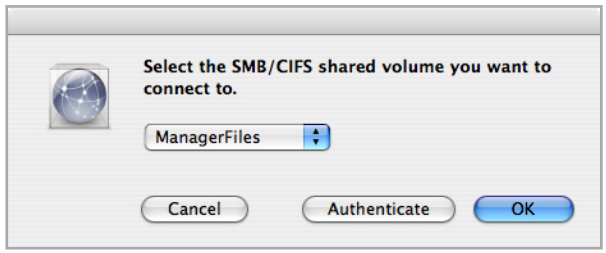



図 4.5-C

図 4.5-D

■ Mac OS 9.x をご使用の方

[Apple] メニューから、[**Network Browser**] 、[**Chooser**] または [**Connect to Server**] を選択します。[Chooser] で、[**Appleshare**] アイコンをクリックします。サーバーが、デフォルト名 [LaCie-2big] で一覧に表示されます。サーバーを選択して、[**OK**] クリックします。

## 4.6. Linux をご使用の方

[KDE] から [konqueror] を開き、アドレス フィールドに LaCie 2big Network の IP アドレスを入力します。

- FTP アクセスの場合 – **ftp:// [IP address]**
- HTTP アクセスの場合 – **http:// [IP address]**
- SMB/CIFS アクセスの場合 (この方法は、サービスが正しく構成されていないと機能しません) – **smb:// [IP address]**.

# 5. RAID

## 5.1. 2big Network RAID モード

LaCie 2big Network は、2 つの RAID モード、Big (コンカチネーション) と Safe 100 (RAID 1) をサポートします。ここでは、アプリケーションに適切なモードを選択するためのガイドラインについて説明します。

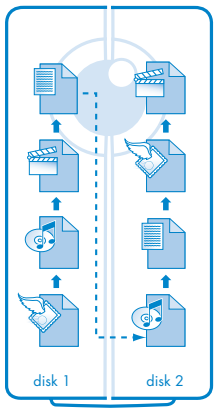
**技術面での注意:**使用可能な総容量は、RAID モードによって異なります。

- Big = 合計アクセス可能容量
- SAFE 100 (RAID 1) = 容量の約 50%。

### ■ Big (コンカチネーション)

Big モードでは、2 つの物理ディスクが結合されて (コンカチネーション)、1 つの論理的なボリュームを形成してデスクトップにマウントされているため、最大限の容量をもたらします (各ディスクの使用可能な容量は計算されています)。1 つの物理ディスクに障害が発生すると、両方のディスクにアクセスできなくなります。

1 つの大きなボリューム



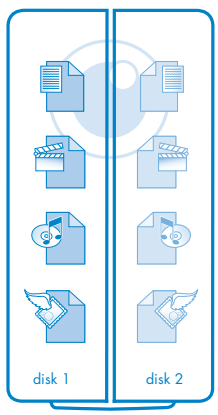

### ■ Safe 100 (RAID 1)

Safe 100 モードでは、2 つの物理ディスクが同時にミラーリングされて (RAID 1)、1 つの論理的なボリュームを形成してデスクトップにマウントされています。

すべてのデータ (100%) が、それぞれのディスクに同時に保存されます (使用可能な容量が、容量の小さい方のディスクの使用可能容量を超えることはできません)。1 つの物理ディスクに障害が発生しても、データはもう片方のディスクで即座に使用可能となります。

ディスクに障害が発生した後、片方のドライブが交換されるとき、自動的に再構築が開始されます。すべてのデータが、既存のディスクから新しいディスクにコピーされます。セクション「5.3 ディスクの交換」を参照してください。

安全な 1 つのボリューム



## 5.2. RAID モードの変更

RAID モードを変更するには 2 つの手順、物理的な設定変更と NAS 管理ページでの設定の確認が含まれます。

**注意:** RAID モードを変更すると、LaCie 2 Big に保存されたすべてのデータが破壊されます。ディスク ドライブにデータを保存した場合は、次のステップに進む前にバックアップを取ってください。

### RAID モードを変更するには

1. ロータリー スイッチの溝に小さなマイナスドライバを挿入し、ドライバのハンドルを左または右に締め、異なるモードを選択します (図 5.2-A)。
2. NAS 管理ページの管理者アカウントにサインインします。
3. **[システム] > [ディスク] > [RAID]**の順にクリックします。
4. [変更の適用] ボックス (図 5.2-B の**A**) を選択し、**[適用]** ボタン (図 5.2-B の**B**) をクリックします。

2big は新しい RAID アレイを作成し、ディスクからすべてのデータを削除します。引き続き管理するには再びログインする必要がある場合、リブートすることもあります。

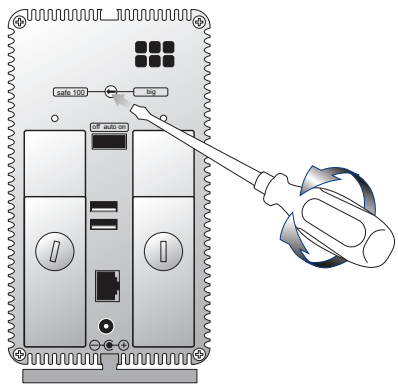



図 5.2-A

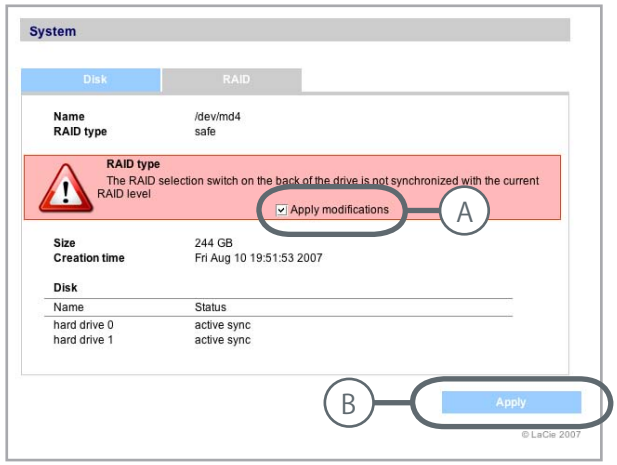



図 5.2-B

■ RAID ステータス インジケータ

| Home ページ | BIG モード | SAFE モード | |
|---|---|---|---|
| 青色 | クリーン | アクティブ | 2big は完全に機能しています。 |
| 赤色 | アレイはアクティブではありません。 | クリーン、機能低下 | ディスクが認識されません。**[システム] > [ディスク] > [RAID]**の順にクリックし、ディスクが機能しているか確認します。 |
| 灰色 | フォーマット | アクティブ、再同期 | 中間状態 – 2big はデータをフォマットまたは再構築しています。 |

## 5.3. ドライブの交換

LaCie 2big の個々のハード ディスクが故障した場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマ サポートにお問い合せください。ハード ディスク ドライブが故障した際は、必ず LaCie 製の新しいドライブと交換してください。ドライブを交換するには 2 つの手順、新しいドライブのインストール (セクション 5.3.1) および NAS 管理ページでの新しいドライブの初期化 (セクション 5.3.2) があります。

**注意:** LaCie 2big を継続して使用した場合、ドライブが熱を持つ可能性があります。取り外しの際には、十分注意してください。

**重要な情報:** 故障したディスク ドライブを LaCie 以外のディスク ドライブと交換すると、保証の対象外となります。

### 新しいディスクを挿入した場合

- Safe モード – データは使用可能新しいディスクが挿入されると、新しいディスクに対して自動データ再構築が実行されます。
- BIG モード – 1 つのドライブに障害が発生すると、すべてのデータは消失します。新しいディスクが挿入されると、両方のディスクがフォーマットされます。

## ■ 5.3.1. 新しいドライブのインストール

**ドライブを取り外すには**

1. LaCie 2bigの電源をオフにして、取り外します。
2. ドライブ　トレイはロックされています。ロックを解除するには、ドライブ　ロックのスロットにコインを入れて、スロットが縦になるまでロックを回します (図 5.3.1-A)。
3. ドライブ　トレイのハンドルの後ろのスペースに指を入れて慎重にドライブ トレイを引きながら、ドライブを完全に引き出します (図 5.3.1-B)。
4. ドライブ トレイのハンドルをつかみ、慎重に取り外します (図 5.3.1-C)。

**ドライブをインストールするには**

1. LaCie 2big の電源をオフにして、取り外します。
2. ドライブ トレイを慎重に空のドライブ ベイに挿入します。ドライブ　トレイがほとんど挿入されて手元に抵抗を感じたら、ドライブ スナップが所定の位置にしっかりと収まるまでドライブ トレイのハンドルを強く押します。そうするとドライブ トレイのハンドルは、2big の背面と同一平面上にあるようになります。
3. コインを使ってドライブのロックを締めます。

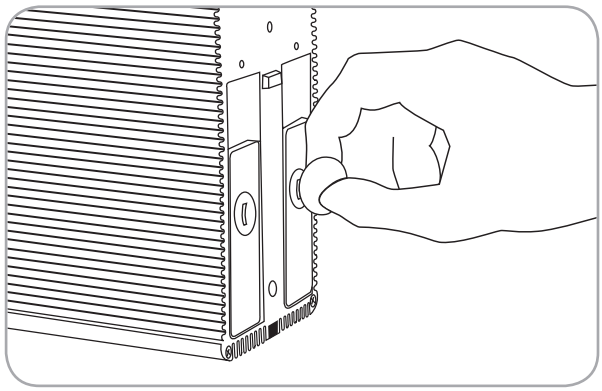


図 5.3.1-A

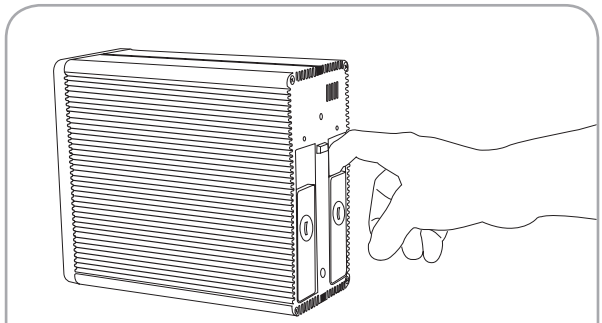


図 5.3.1-B

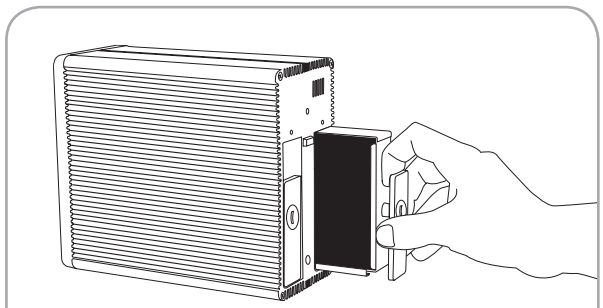


図 5.3.1-C

### ■ 5.3.1. 新しいドライブを初期化する

新しいドライブが 2big に正しくインストールされたら、2big で使用する前に初期化する必要があります。

**新しいドライブを初期化するには**

1. NAS 管理ページの管理者アカウントにサインインします。
2. **[システム] > [ディスク] > [RAID]**の順にクリックします。
3. [変更の適用] ボックスを線タスクし、[**適用**] ボタンをクリックします(図 5.3.2)。

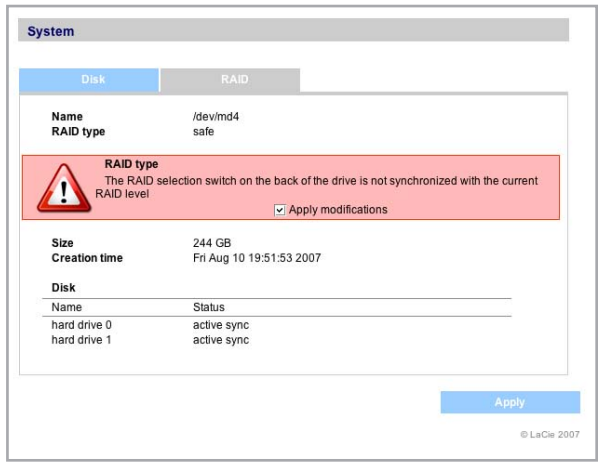



図 5.3.2

**技術面での注意:**2big が SAFE モードの場合、新しいディスクは元のディスクと同期化する必要があります。ディスクの容量に応じて、同期化には数時間かかる場合があります。

# 6. LED インジケータ

ドライブ ベイの上の LED インジケータと前面の LED インジケータは、ドライブのステータスとアクティビティを示します。このセクションでは、LED インジケータの動作について説明します。

## 起動時

- 正面 LED – 両方のディスクに電源が入るまで赤/青に点滅してから、青色で点灯します。
- 背面 LED – 対応するディスクに電源が入るまで赤/青に点滅してから、青色で点灯します。

**注意:** ディスクのスタートアップの後で初期化のブート処理を実行できない場合、正面は赤色で点灯します。

## ブートアップ時

- 正面の LED – 青色で点灯
- 背面の LED – 青色で点灯

**注意:** ディスクに障害が発生すると、ディスクに対応する背面 LED と正面 LED の両方とも赤色で点灯します。

## RAID 同期化時

- 正面の LED – 赤色で点灯
- 背面の LED - 元のディスクに対応する LED は青色で点滅し、同期化される側のディスクに対応する LED は赤色で点滅します。
- 両方のディスクが同期化されたら、対応する背面の LED と正面の LED は青色で点灯します。

# 7 トラブルシューティング

LaCie 2big Network が正常に動作しない場合は、以下のトラブルシューティング セクションをご覧になり、また当社ウェブサイト www.lacie.com 記載の FAQ をご覧ください。FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバのページもご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。
www.lacie.com/support/drivers.

さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (8 章「カスタマ サービスへの問い合わせ」を参照) にご連絡ください。

## ■ システム ログ

システム ログを使って、LaCie 2big Network でのアクティビティのタイプ、日付、時刻、ソース、およびイベント を確認できます。詳細については、「3.7.6 システム ログ」の章を参照してください。

## ■ マニュアルの更新

LaCie は、最新かつ市場で入手可能な、幅広いユーザー マニュアル市場で入手可能なユーザー マニュアルの中で最新かつ、最も幅広いマニュアルをお客様にお届けするよう、常に努めております。新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになった製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧いただき、最新バージョンのマニュアルをご確認ください。

| ■ 問題 | ■ 確認事項 | ■ 解決方法 |
|---|---|---|
| コンピュータがデバイスを認識しない。 | お使いのコンピュータは、最小システム要件を満たしていますか。 | 詳細については、[1.2.システム要件]を参照してください。 |
| | ハード ディスクの電源が接続され、ハード ディスク正面の青色のライトがオンになっていますか。 | 電源が正しく接続されていること (詳しくは2.1 ドライブをオンにする を参照); ハード ディスク正面の青色のオン/オフ ボタンを押して、ハード ディスクの電源がオンになっていること、電源を接続したコンセントがオンになっていること、また十分な電力があることも確認してください。 |
| | ドライブ正面の青色のライトが点滅していますか。 | 青色のライトが点滅する場合、または点灯しない場合は、電源に問題がある可能性を示しています。この場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマ サポートにお問い合わせください。 |

| ■ 問題 | ■ 確認事項 | ■ 解決方法 |
| --- | --- | --- |
| コンピュータがデバイスを認識しない。 | 特定のインタフェースに適した手順でインストールを行いましたか。 | インストールの手順を確認してください (第 3 章)。両ケーブルを同時に接続することはできません。 |
| | インタフェース ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。 | ❖ インタフェース ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。<br>❖ インタフェース コネクタが正しく合っていることを確かめてください。インタフェース ケーブルは、一方向にしか挿入できません。向きが正しいことを確認してください。<br>❖ インタフェース コネクタが真っ直ぐでインタフェース ポートにしっかり取り付けられていることを確認してください。<br>❖ インタフェース ケーブルは、LaCie ハード ディスクに付属のケーブルなど、認定を受けているもののみを使用してください。これらすべての指示に従い、それでもドライブが検出されない場合は、コンピュータを一度シャットダウンし、3 ～ 5 分間待ってから再起動してもう一度行ってください。それでもハード ディスクが検出されない場合は、ハード ディスクを別のコンピュータに移し、接続してみてください。別のコンピュータでも検出されない場合は、LaCie 販売代理店またはLaCie カスタマ サポートにお問い合せください。 |

| ■ 問題 | ■ 確認事項 | ■ 解決方法 |
|---|---|---|
| ドライブがネットワークに表示されません。 | デフォルトでは、2big Network は DHCP サーバーから IP アドレスを得るように設定されています。ご使用のネットワークが DHCP サーバーで管理されており、2big Network にアクセスできない場合は、DHCP サーバーのログを確認してください。IP アドレスを取得するには、LaCie IP Configurator ソフトウェア ツールを使用してください。LaCie Storage ユーティリティが収録されている CD-ROM.にあります。ご使用のネットワークが DHCP サーバーで管理されていない場合は、2big Network はデフォルト IP アドレス 19X.x6X.x.100 を使用します。IP アドレスを変更するには、IP Configurator ソフトウェア ツールを使用してください。 | |
| | IPアドレスが正しく設定されていますか。 | 詳細については、セクション 4.「共有ストレージにアクセスする」を参照してください。 |
| | ネットワークの DHCP が有効になっていますか。 | ネットワークで DHCP が有効にな t g ている場合は、セクション「2.3 LaCie Ethernet Agent に接続する または 2.4 IP Configurator Wizard に接続するを参照してください。ネットワークで DHCP が有効になっていない場合は、アドレスを手動で設定する必要があります。詳細については、セクション「2.5 DHCP サーバなしで LAN に 2big Network を接続するを参照してください。 |
| | Mac OS 9.x で AppleTalk を使用していますか。 | Mac OS9.xで AppleTalk をご使用になっている場合は、LaCie 2big とネットワーク上の他のクライントが同じ AppleTalk ゾーンにあるようにしてください。 |
| ユーザーに LaCie 2big Network へのアクセス権がありません。 | 管理者がその特定のユーザーを作成したのですか。 | 別のユーザーが LaCie Ethernet Disk mini にアクセスするためには、次の 2 つの条件が満たされる必要があります。管理者がユーザーを作成、登録し、適切な権限が付与されていること。2) LaCie 2big Network を Ethernet 経由でネットワークに接続し、追加ユーザーがハード ディスクにアクセスできるようになっていること。 |

# 8. カスタマ サポートへのお問い合わせ

## ■ カスタマ サポートへお問い合わせになる前に

1. このユーザー マニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であれば、CPU　上の外付けデバイスを本ドライブだけにして、すべてのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストにすべて目を通し、問題が該当しないかどうかを確認します。それでもデバイスが正常に動作しない場合は、次のページの連絡先を参照して LaCie までご連絡ください。次の情報をお手元にご用意の上で、当社へお問い合わせください。

- LaCie 製品のシリアル番号
- コンピュータのメーカーおよびモデル
- インストールされているメモリの容量
- コンピュータにインストールされている、CD/DVD バーナーを含めたその他のデバイスの名前

## ■ eメールでの通信に含める情報

| 情報 | 確認箇所 |
|---|---|
| 1. LaCie 2big Network のシリアル番号 | デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。 |
| 2. LaCie 2big Network のファイル フォーマット | **Mac をお使いの方:** ハード ドライブの アイコンを選択して [Command + I] キーを押すか、または [Control] キーを押して **Get Info** を選択します。<br>**Windows をお使いの方:** ハード ドライブのアイコンを右クリックし、[**プロパティ**] を選択してください。 |
| 3. Macintosh/PC のモデル<br>4. オペレーティング システムのバージョン<br>5. プロセッサの速度<br>6. コンピュータ メモリ | **Mac をお使いの方:** メニュー バーの Apple アイコンをクリックし、[**About this Mac**] を選択します。<br>**Windows をお使いの方:** [**マイ コンピュータ**)]を右クリックし、[**プロパティ**] > [**全般**]を選択します。 |
| 7. コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名 | **Mac をお使いの方:** ファインダ バーの Apple アイコンをクリックし、[**About this Mac**] を選択します。Select [**詳細情報**] **を選択します。**Apple システム プロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。<br>**Windows をお使いの方:** [**マイ コンピュータ**)]を右クリックし、[**プロパティ**] > [**ハードウェア**]**を選択します。** |

## 8.1 Lacie テクニカル サポートの連絡先

| | |
|---|---|
| LaCie アジア、シンガポールおよび香港<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/asia/contact/ | LaCie オーストラリア<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/au/contact/ |
| LaCie ベルギー<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/be/contact/ (フランス語) | LaCie カナダ<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/caen/contact/ (英語) |
| LaCie デンマーク<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/dk/contact | LaCie フィンランド<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/fi/contact/ |
| LaCie フランス<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/fr/contact/ | LaCie ドイツ<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/de/contact/ |
| LaCie イタリア<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/it/contact/ | LaCie 日本<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/jp/contact/ |
| LaCie オランダ<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/nl/contact/ | LaCie ノルウェー<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/no/contact/ |
| LaCie スペイン<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/es/contact/ | LaCie スウェーデン<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/se/contact |
| LaCie スイス<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語) | LaCie 英国<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/uk/contact/ |
| LaCie アイルランド<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/ie/contact/ | LaCie アメリカ合衆国<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/contact/ |
| LaCie インターナショナル<br>連絡先:<br>http://www.lacie.com/intl/contact/ | |

# 9. 保証について

当社は、保証書に指定されている期間内において、正常なご使用のもとで生じたすべての製造上の欠陥に対して、本製品を保証いたします。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、当社の裁量で、欠陥品を修理または交換するものとします。次の場合は、保証が無効になります。

- 本製品を、標準外の使用環境または標準外の保守環境で使用または保管された場合
- 修理、改造、変更について当社の書面による明白な承認がないにもかかわらず、本製品を修理、改造、変更した場合
- 本製品を誤用・放置したり、落雷、電気関連の障害、荷造り不良、事故があった場合
- 本製品が不適切に設置された場合
- 本製品のシリアル番号を汚損または紛失した場合
- 破損部品が、ピックアップ トレイなど交換用パーツである場合
- 本製品のケーシングの不正開封防止シールが破られている場合

当社およびその納入業者は、本製品の使用中に起こったデータ損失、あるいは結果的に生じたいかなる問題についても責任を負いません。

当社は、いかなる場合においても、プロパティ(動産、不動産)や設備装置の損傷または損失、利益または収入の損失、交換品にかかるコスト、サービスを使用できないことが原因で生じた支出または不都合などを含むがこれらに制限されない、直接的、実害または間接的などの損害については一切責任を負いません。

本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。

いかなる場合でも、ドライブに支払われた購入価格を上回る金額を請求することはできません。

保証サービスを受ける場合は、LaCie テクニカルサポートにご連絡ください。LaCie 製品のシリアル番号をご用意ください。また、本製品が保証期間内であることを確認するために購入を証明するものをご提示いただくことがあります。

当社に製品を返品される場合は、購入時にその製品が入っていた箱にしっかりと梱包し、送料前払いでお送りください。

**重要な情報:** 無償のテクニカル サポートをご利用になるには、次の Web サイトでオンライン登録を行う必要があります。www.lacie.com/register